

9

I Got Reincarnated as
a Mid-Boss Who Dies
at the Start of a Game.

転生したら
序盤で死ぬ

中ボス
だった

—ヒロイン眷属化で生き残る—

原作 稲下竹刀
漫画 正靈
(Friendly Land)



転生したら序盤で死ぬ
中ボスだった

—ヒロイン眷属化で生き残る—

I Get Reincarnated as a Mid-Boss Who Dies
at the Start of a Game.

9

原作 稻下竹刀

漫画 正雪 (Friendly Land)



中ボスだった

転生したら序盤で死ぬ

〜ヒーローン眷属化で生き残る〜

I got reincarnated as a mid-boss
who dies
At the start of a game.

SOUL REINERS

目次

I Got Reincarnated as a Mid-Boss Who Dies at the Start of a Game.

第25話

欲望に導かれし者たち

003

第26話

僧侶が魂を売る理由

067

第27話

遠のく安息の日々

129



ユーリさん!



なんて無茶なことを...!

すぐに回復魔法を掛けますから



安心したら

力が抜けてしまったよ...



ありがとうございます

ありがとうございます

みんな...

みんな...心配させてごめん



まったく…

あなたに
何かあったら

私たちは…



よく考えたらさ

死んでも
よみがえるん
だし

無茶する
くらいが

バランスなのかも
って思ったんだ



バランス…？

とにかくそれでも
無茶しすぎです

今は女神様のお力も
弱まっているの
ですから

何が起こるか
わからないん
ですよ！





あれは
なんだい？

な
なんだろう？

私も^{わたし}テンションが
上が^あっちゃった
から

よくわから
ないな…



だいじょうぶ
大丈夫なの？

ユーリさん



リコちゃんも

ありがとう

しる、



うん

かたじけなく
体中が
いた
痛いけど…

なんとかね



リコラちゃん

バーサク化
のスキル

いつの間
に覚
えていたの？

ええと…



そうだね

確かに
リスクがあるから

今度
から使う時は
相談
してね



実は…
ちょっと
前

危
ないから
あんまり
使わ
ない方
が
いい
な
って
思
っ
て







どうやら

もと
元にも
戻っている
みたいだね

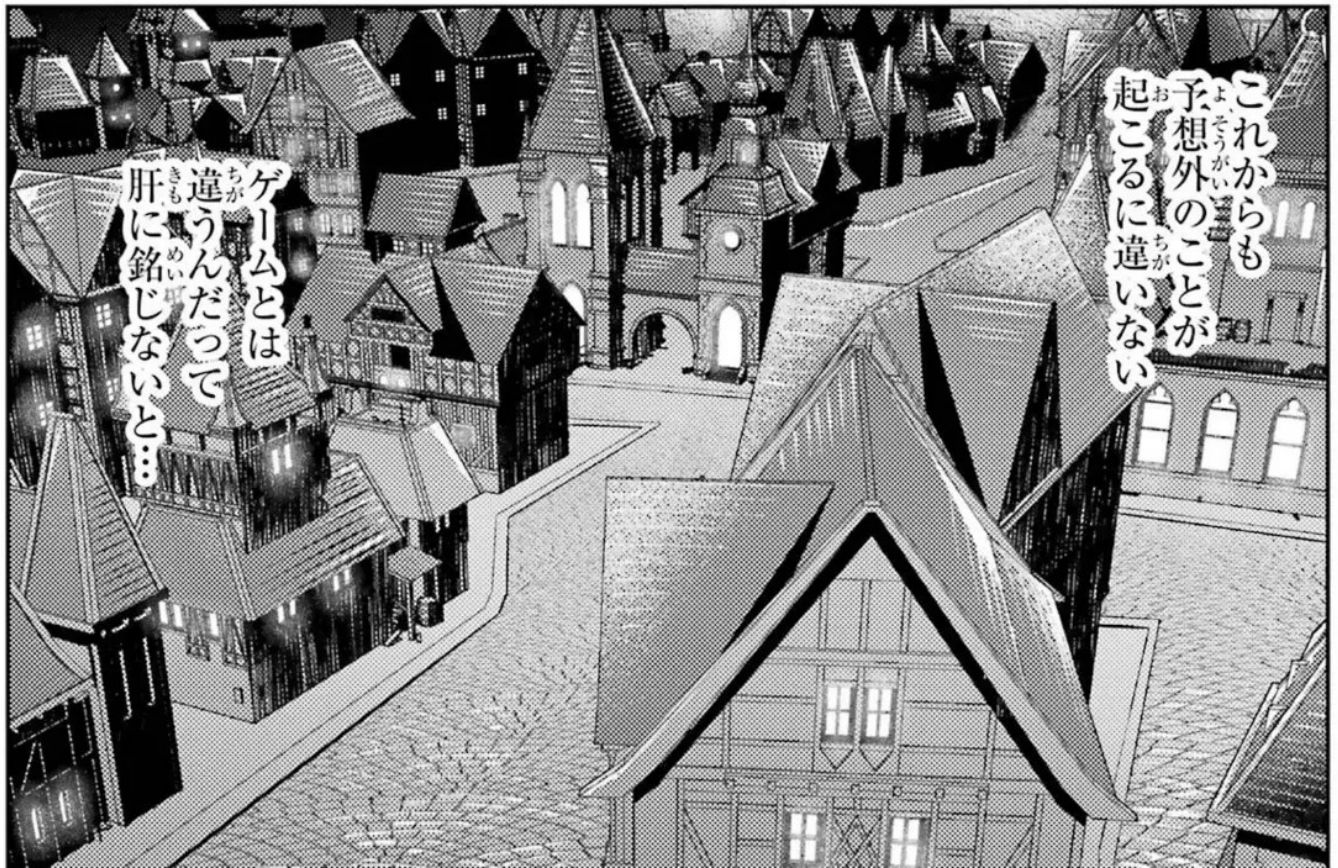
あいつらが
いなかったら
どうなっていたか…

犠牲者も
出てしまいました
けれど…



ちゆう
中ボスが前の
まへ
マップに
せ
攻めてくるなんて…

あらた
改めて
ゲームのストーリーが
ま
まったく変わって
しまっているな…



これからも
よ
予想外のことが
お
起こるに違いない

ゲームとは
ち
違うんだって
き
肝に銘じないと…





この世界は^{せかい}
ゲームとは違^{ちが}う

だつたら^{ことば}
あの言葉は
いつたいい^い



アッシュノルドは

まさか...





ルドヴェインを
倒したの
は

やはり勇者
なのか？

報告によると

そのようです

四天王の同僚が

一度も
話す機会がないまま
死んでしまった…

少しつらいな



BHFの
敵の中では

ルドヴェインは
結構好きな方だった

とわろか

チュートリアルで死ぬ
アッシュユルドなんかより
ずっと好きだった

ルドヴェインは
ゲーム中盤の
難敵の二人で

悪魔族の頂点
ということもあり
存在感のある
中ボスだった

「雷撃使いの悪魔」
というのが
子供にはかつこよく
思えたものだ

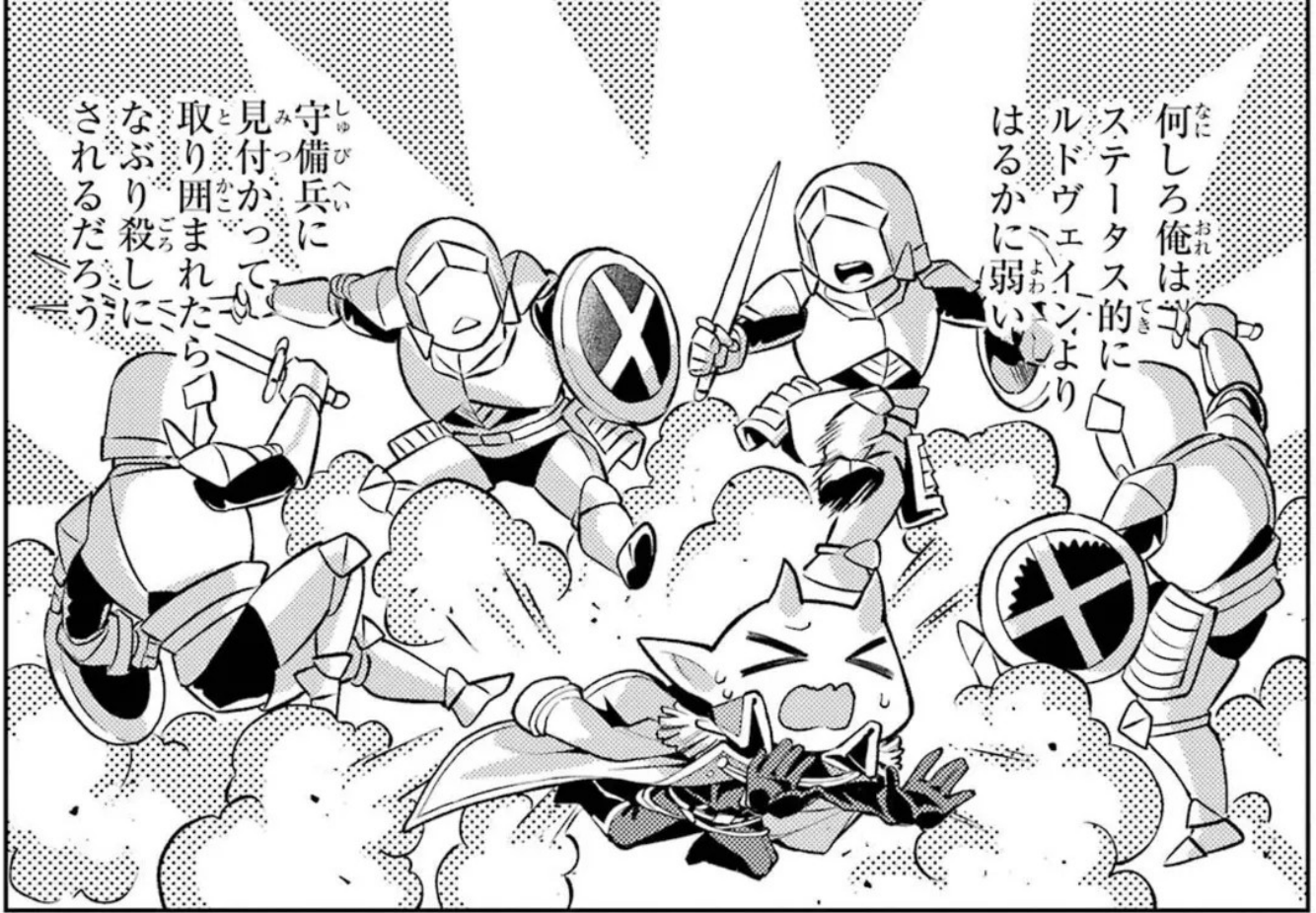
ルドヴェインの
デオロ市侵攻を知って

慌てて駆け付けた時には
戦闘が始まっていた

割って入る
わけにもいかず

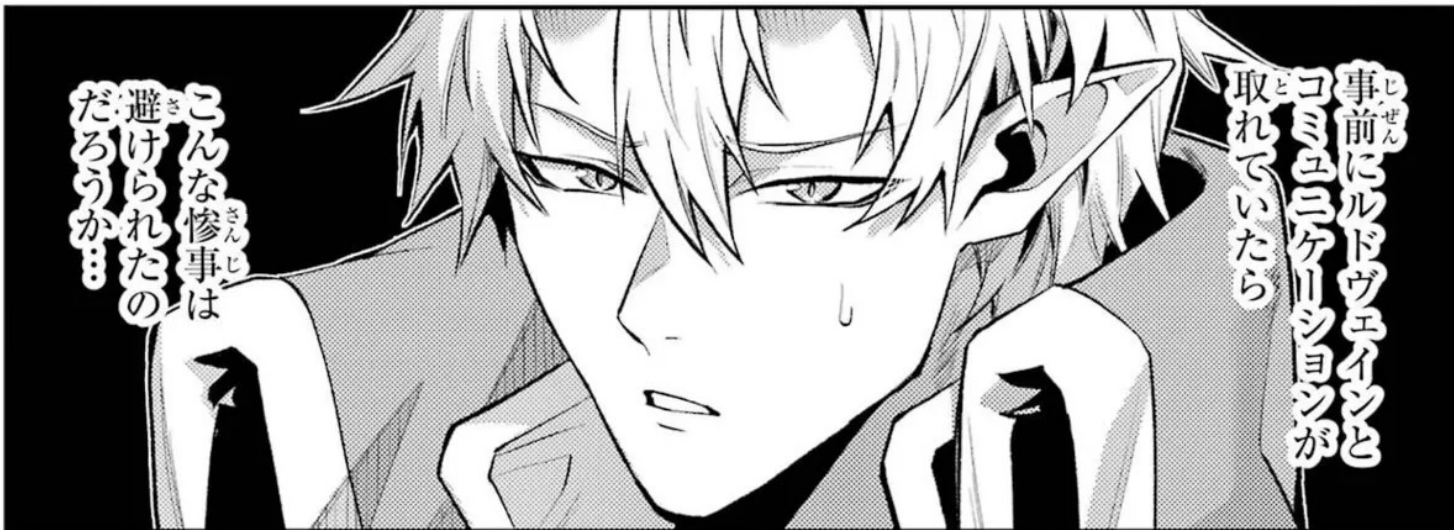
遠くから眺めて
いることしか
できなかった





何しろ俺はゴ
ステータスの的に
ルドヴェインより
はるかに弱い

守備兵に
見付かって
取り囲まれたら
なぶり殺しに
されるだろう



事前にルドヴェインと
コミュニケーションが
取れていたら

こんな惨事は
避けられたの
だろうか



作戦は

予定通り
実行する



例の作戦は…

どうされ
ますか？



アツシユ
ノルドさん

お待^またせ

ココルル

!

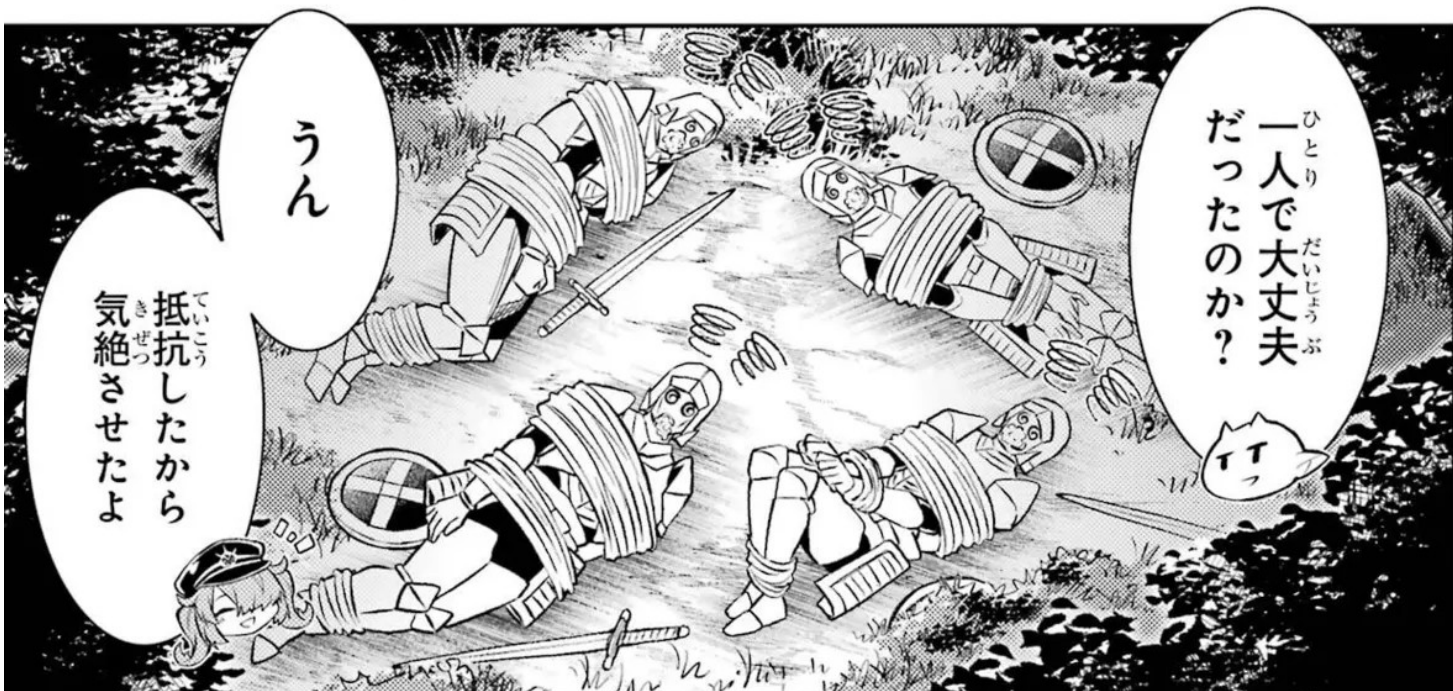


人間の^{にんげん}守備兵^{しゅびへい}が
何人^{なんにん}か

近^{ちか}くを
歩^{ある}いてたから

念^{ねん}のため

全^{ぜん}員拘束^{いんこうそく}して
おいたよ



ひとり^{ひとり}で大^{だい}丈^{じょう}夫^ぶ
だったのか?

うん

抵抗^{ていこう}したから
気絶^{きせつ}させたよ

IT



ココルル

どうやって
気絶させたんだ

お前さん
まえ

武器は持って
ないだろう？



手を液状化させて
口に流し込んだら
簡単に気絶したよ？

人間って
弱いね

.....



ココルル...

それ
一歩間違えたら
死ぬぞ...？

えっ!!

死んでないか確認
した方がいいかな!!

ここ最近
わかってきたことがある



眷属は
俺と体を重ねることで
絆を深め

強くなる
らしい

妙に力が
増していたり



新しいスキルを
覚えていたのは



これが原因だ

ココルルが
若で生活するよう
なつてから



なんと
何度か
セックスする機会が
あった

だから
ココルルも
攻撃力が
上がっているのだろ

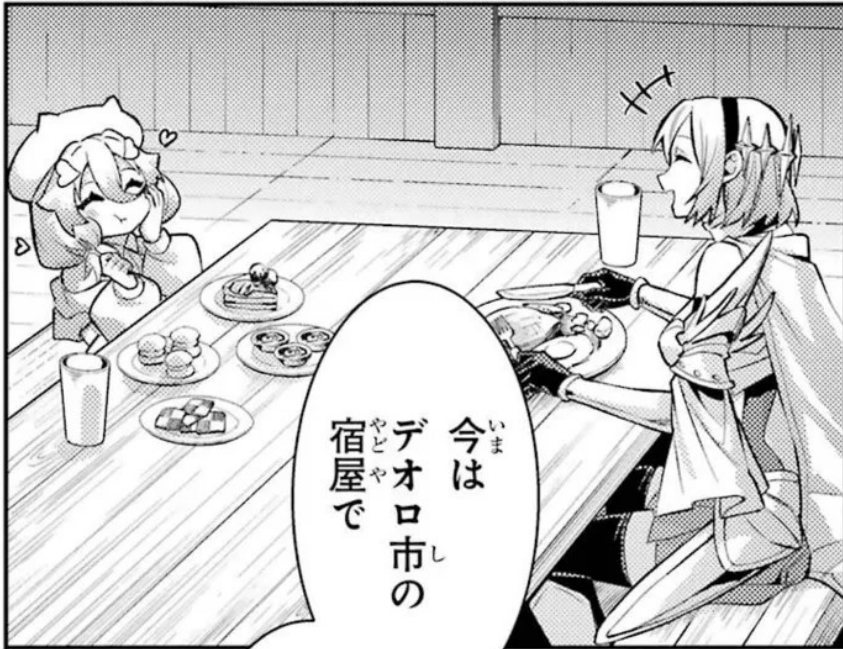


勇者たちは

戦いを終えたばかりで

さて
それでは

勇者パーティー
眷属化作戦を開始するぞ



今は
デオロ市の
宿屋で



休息を取って
いるはずで





ああ

勇者たちに
接触するためには

デオロ市に
入る必要がある



だが

魔族の俺が
真正面からデオロ市に
乗り込むと

ルドヴェインの
時と同じで

大量の人間たちが
立ち向かってくる
だろう



だから
勇者たちには

誰にも見られずに
近づく必要がある



デオロ市の城壁には
壁抜けバグの
ポイントはない

残念ながら
俺が記憶している
限り



こいつを使うんだ

だから
代わりに



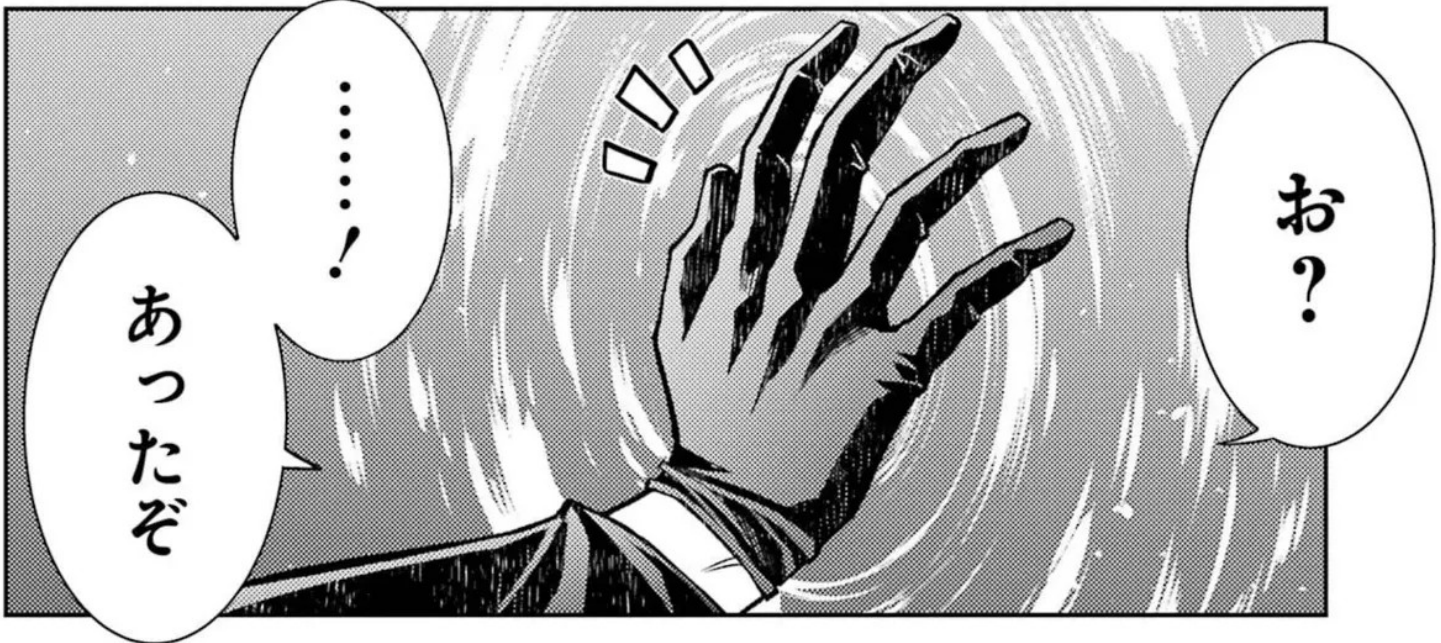


そんな目で
見るな

大丈夫
おれは
俺は正気だ
ほんとう
本当だって

いや

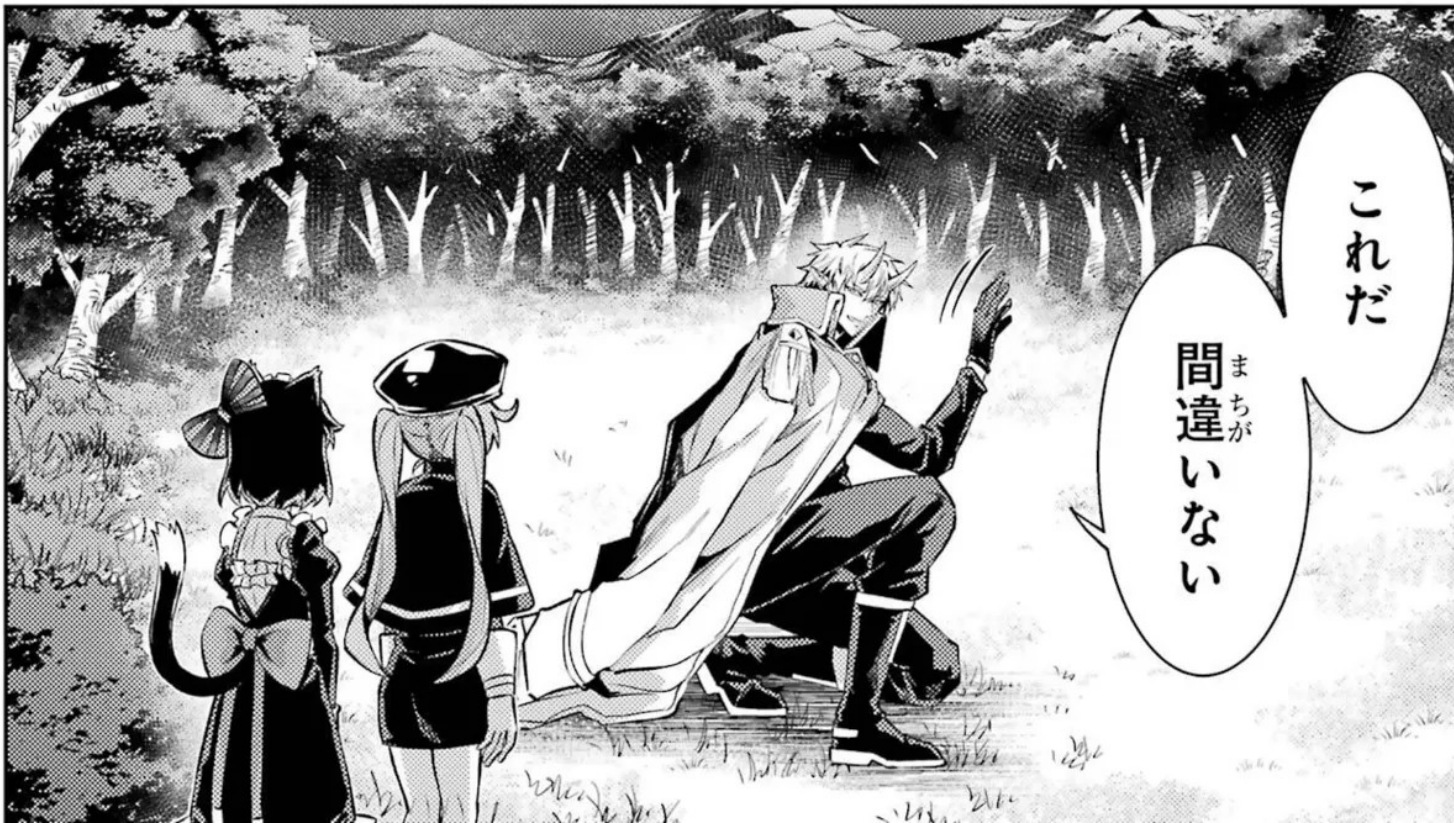
.....



お？

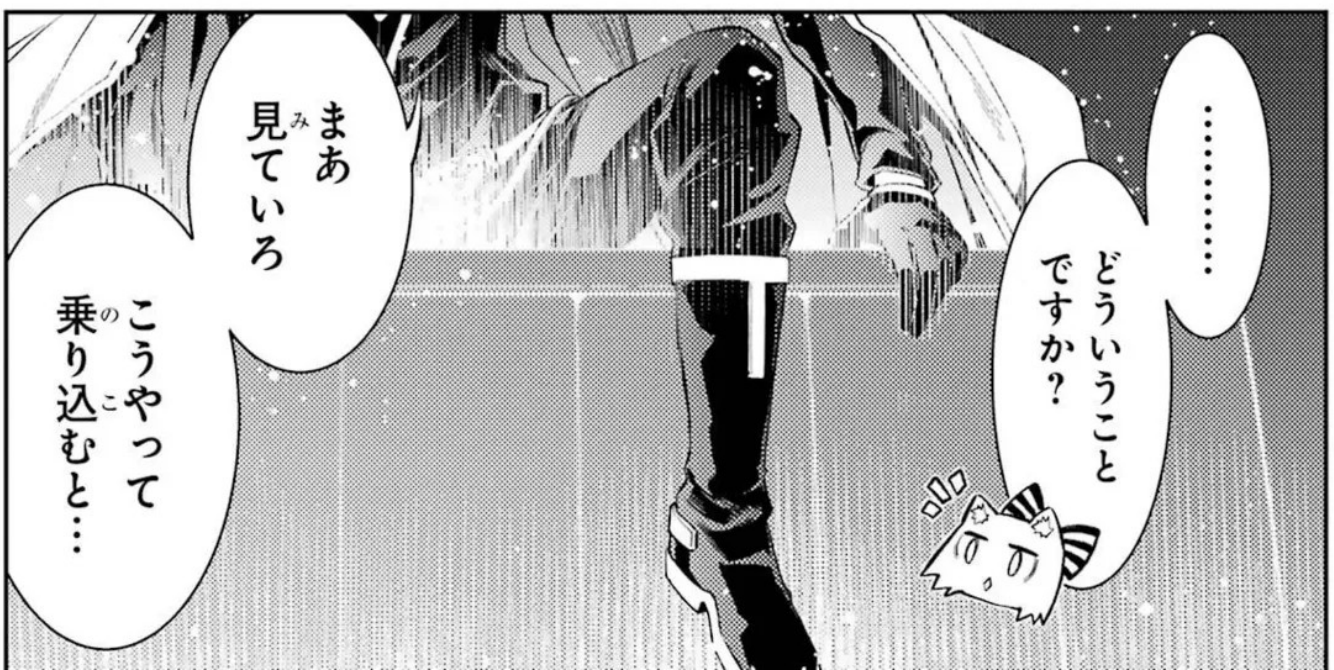
.....!

あつたぞ

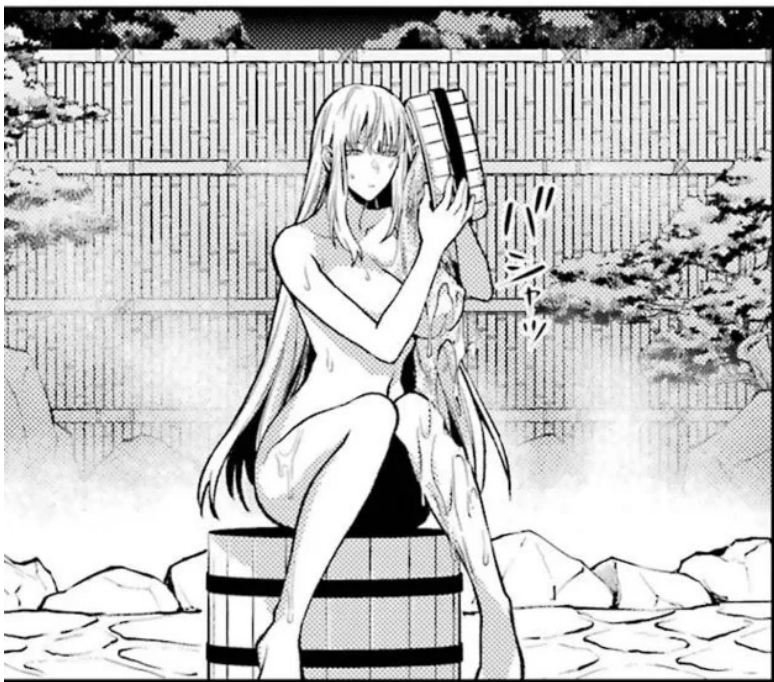


これだ

まちが
間違いない









いつもなら
捕らえた魔族を
こっそり拷問して

情報を
引き出したたりする
ところなのですが…

でも今日は
本当に疲れて
しまいました…

昼間に感じた
体のうずきは

今はかなり
治まっています

それでも
油断すると

体の底から
欲望がせりあがってくるような
気がしますけど…





それとも
いまかん一感
今一感じて
いる
これは…

いつもの
イサミへの情欲
なのでしょうか？



普段から
イサミに欲情
しているの
で

くべつ
区別がつか
なく
困
つて
しま
います
ね…



それにしても
リコちゃんには
ほんとう、ま
本当に驚きま
した

あのキスは
興奮状態
で
強くなる
スキルで！

まもの
魂は
能力が上がる
アイテムだと
いうこと
でしたけど…

ゼン
ゼン

でも
気を付けてね

「魔物の魂」が
体に入った状態で
絶頂すると

からだ
体が魔族に
なっちゃう
らしいから

でも あれは

ほんとう
本当のこと
なのでしようか？

魔族になれば
人間より強い力を
手に入れられるので
しよう…

そう考えると
本当は
ちよつとだけ

魔族に
なつてみたい気持ちも
ないわけではないですね…

それに魔族だったら
教会の堅苦しい規則から
解放されるのですし

もしかしたら
女同士も結婚できる
かもしれません



わ私…

何を考えているんでしょう！



魔族になつてみたいだなんて…

そんなはずありません

今のはただの気の迷いです！



それより気になるのはリコラちゃんです

あれ程のテクを身に付けていたなんて…



リコラちゃんは
『新しいスキル』と
言っていましたね…

あの
素晴らしい…

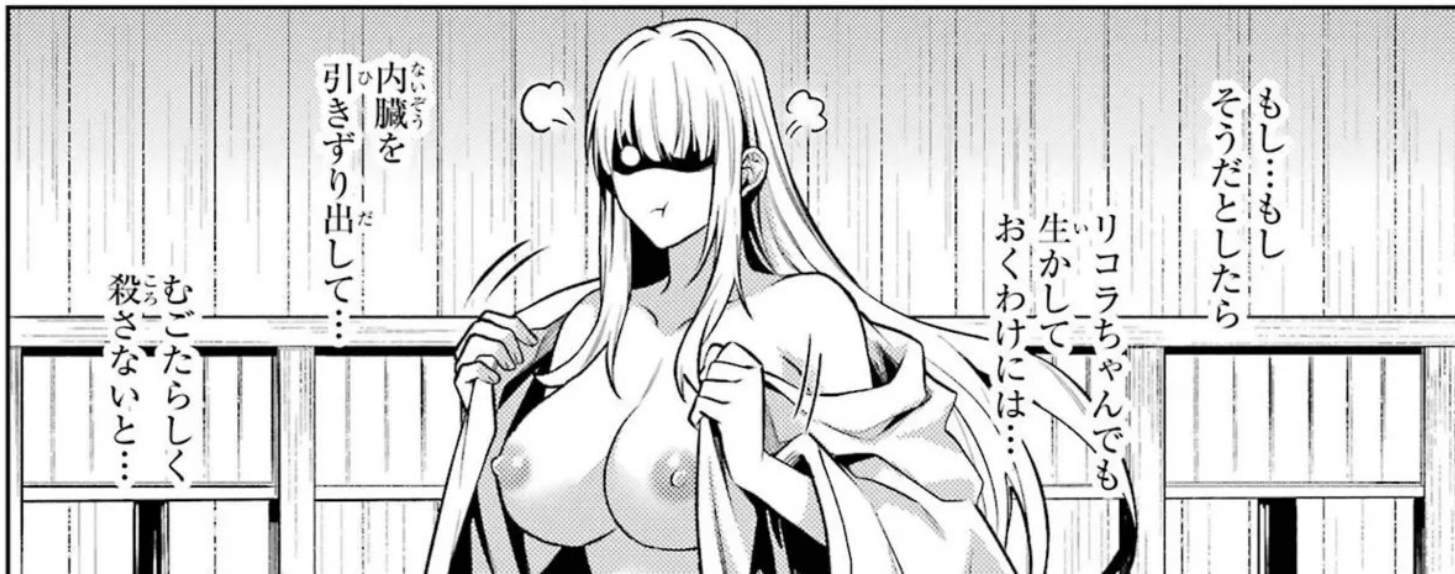
いえ
ハレンチなキスは
最近覚えたという
ことでしょうか



だれ
誰を相手に
練習していたの
でしょう…?!

まさか…

イサミと…?!



もし…もし
そうだとしたら

リコラちゃんでも
生かして
おくわけには…

内臓を
引きずり出して…

むごたらしく
殺さない…



せひとも尋ねてみなくては
いけませんね



リコラちゃんがいっつ…
そして誰を相手に
練習したのか…



リコラちゃん

!



あ

いたいた

ファイオールさん



うん

あのね
ファイオールさん

!



どうしたんですか
リコラちゃん



その...
ファイオールさんを
捜してて

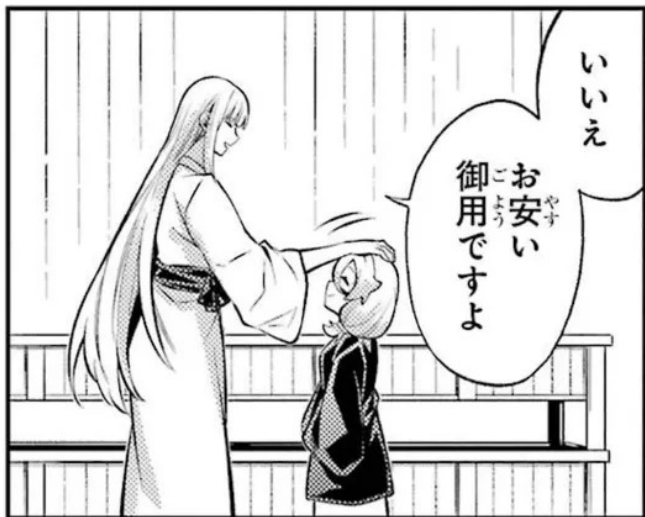
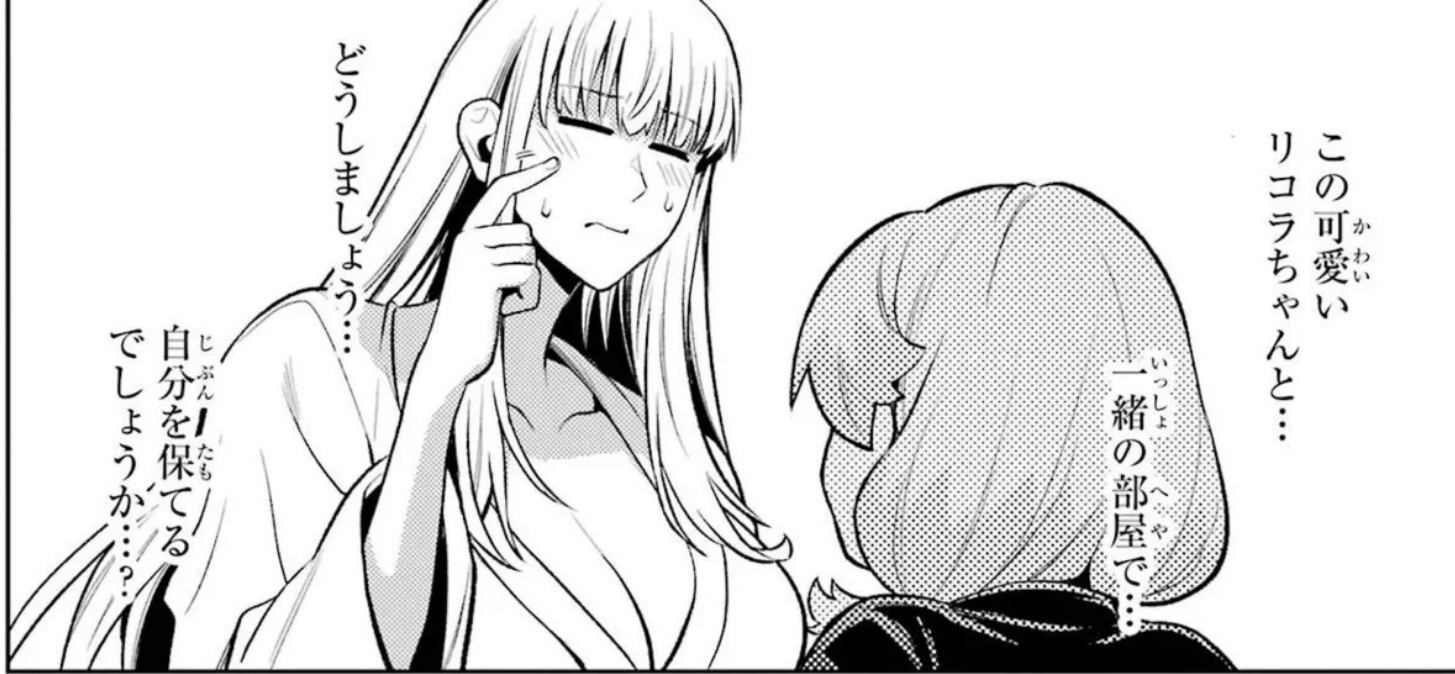


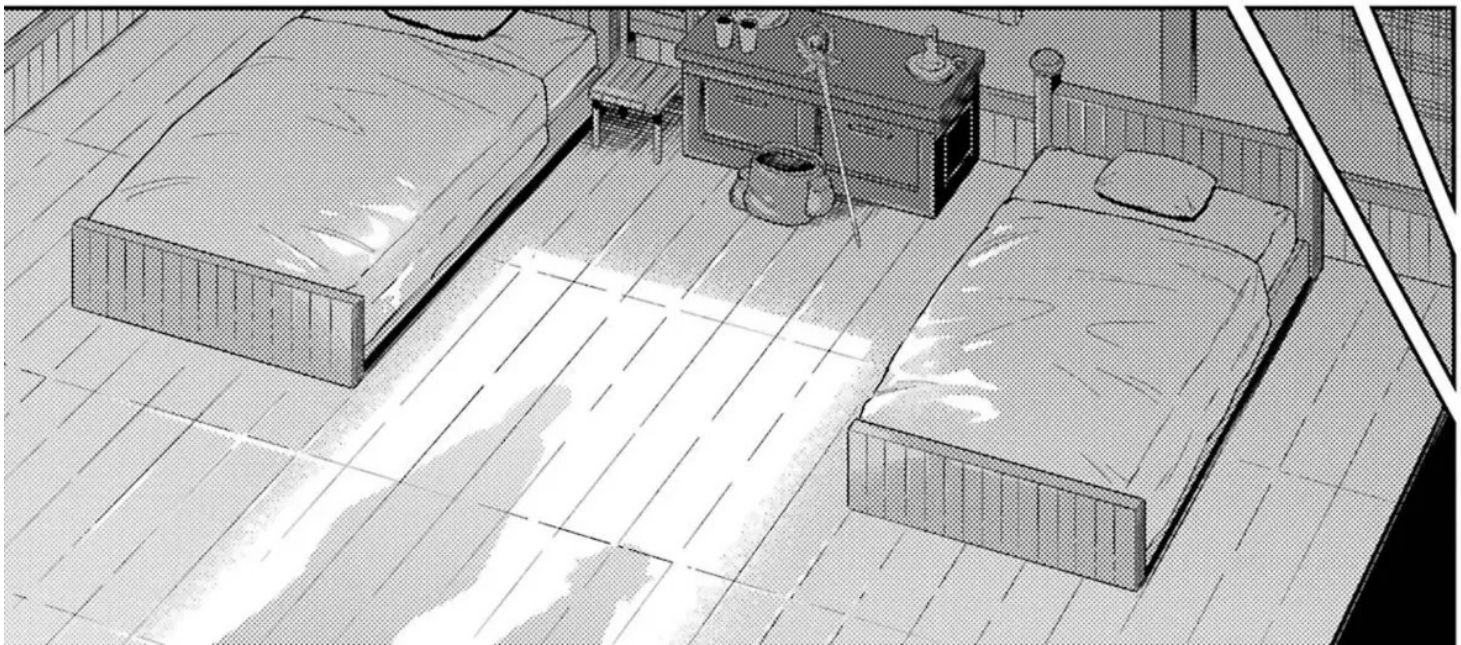
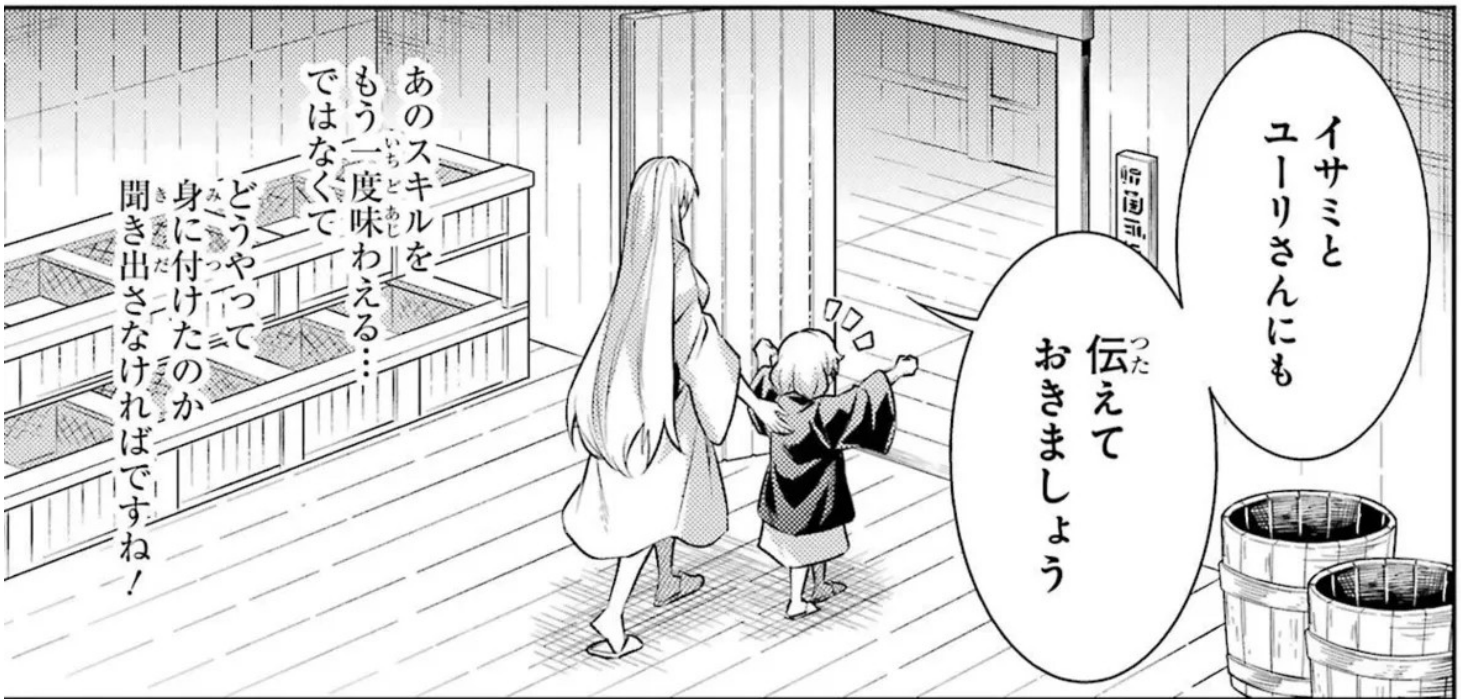
私を?
捜してたんですか?

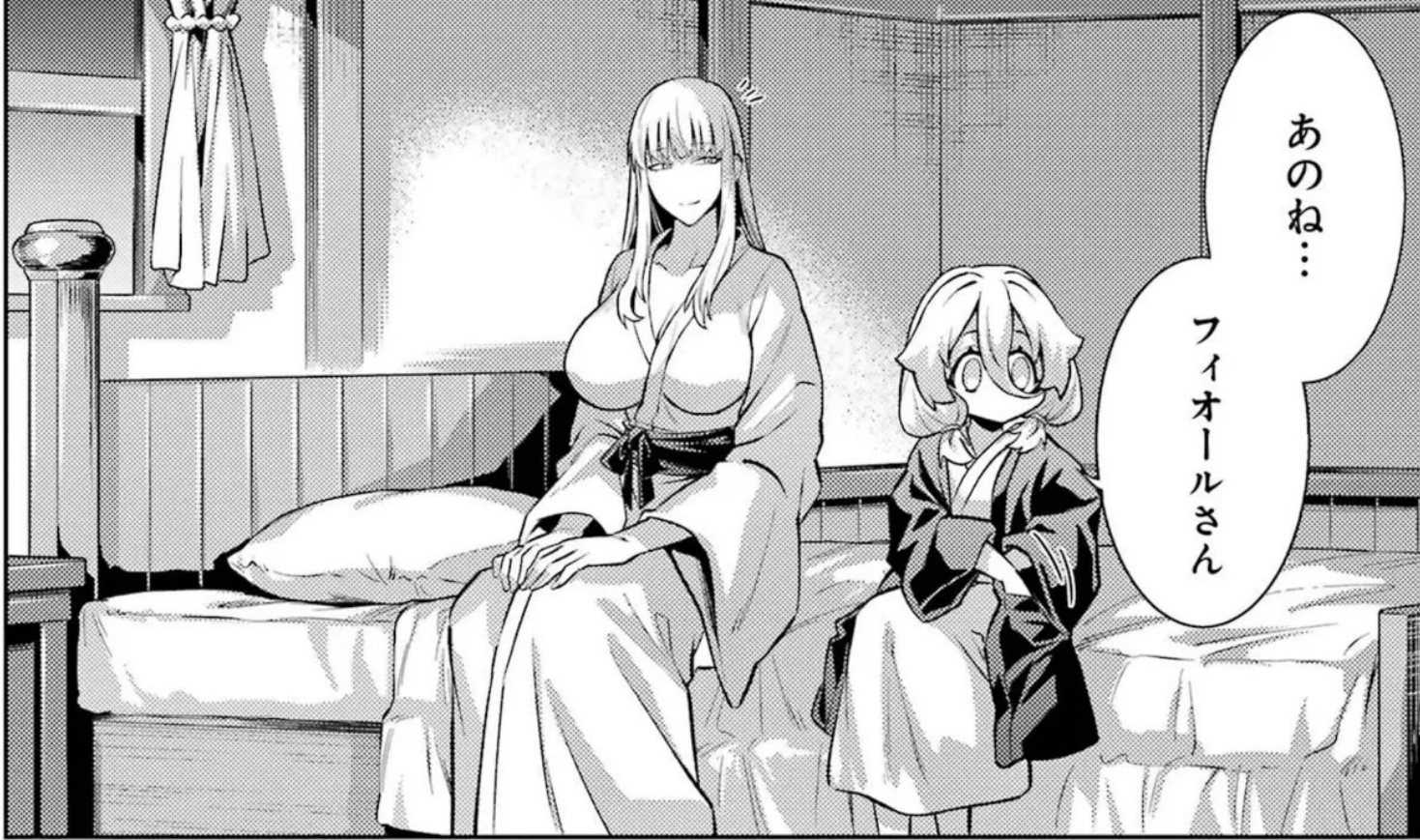
実はちょっと
相談があつて…

きょう
おな
へや
今日は同じ部屋で
寝てくれないかな？









あのね…

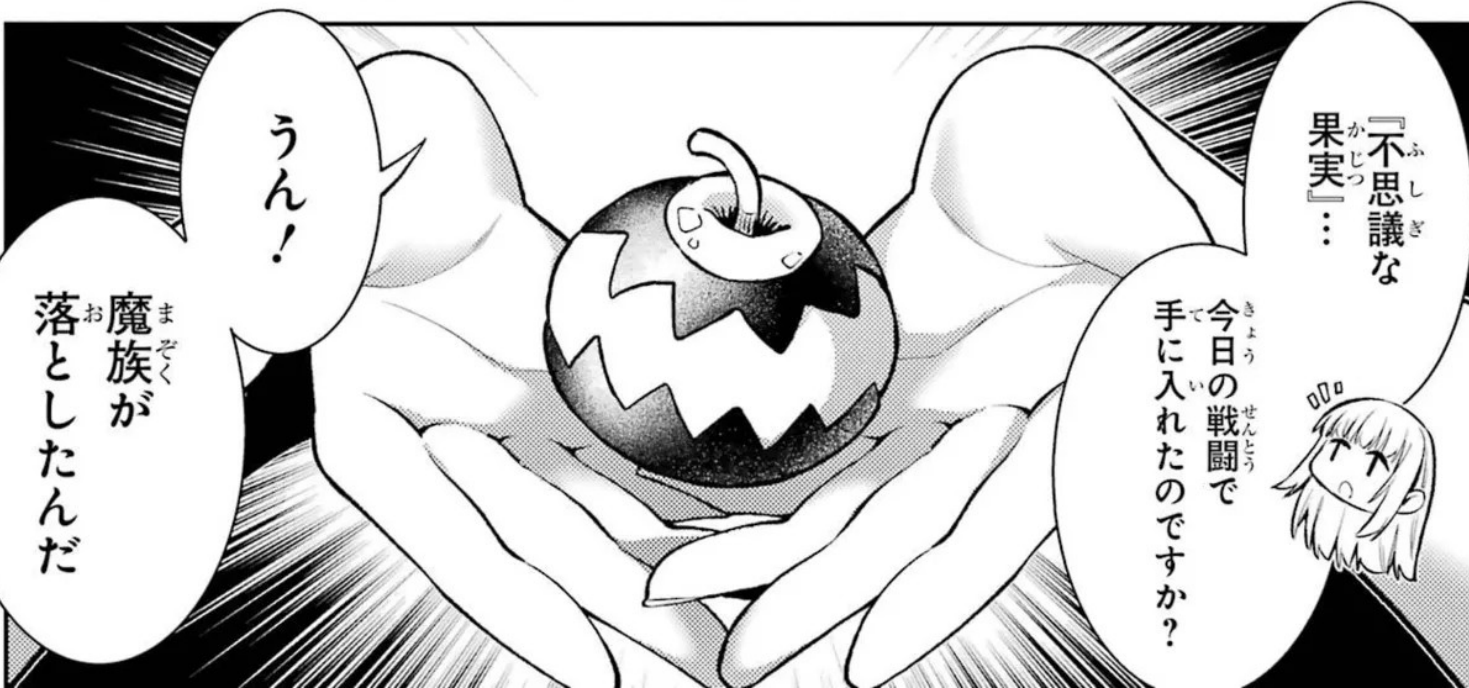
ファイオールさん



それは…



これを
ファイオールさんに
あげたかったの

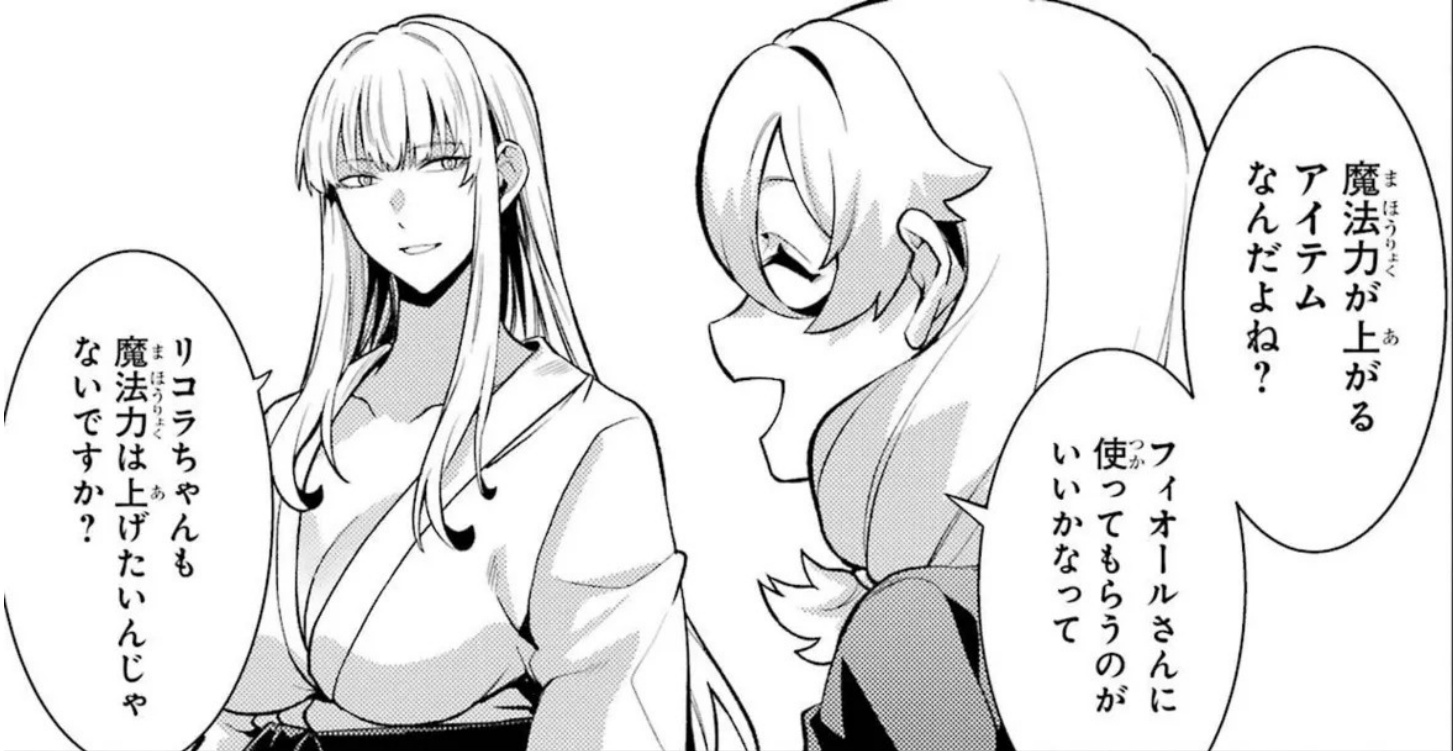


『不思議な
果实』…

今日の戦闘で
手に入れたのですか？

うん！

魔族が
お落としたんだ



魔法力が上がる
アイテム
なんだよね？

フィオールさんに
使ってもらうのが
いいかなって

リコラちゃんも
魔法力は上げたいんじや
ないですか？



そうなんだけど…

ひるまめいわく
昼間迷惑を
掛けちゃったから

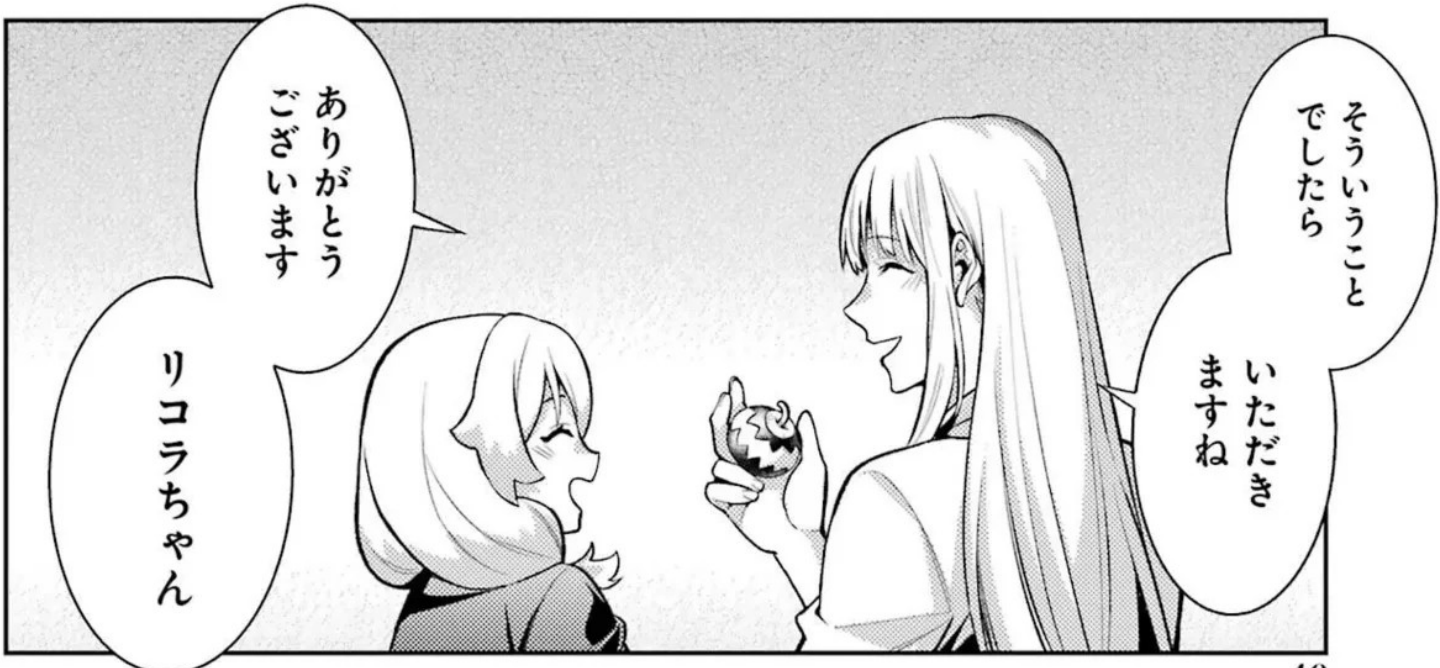
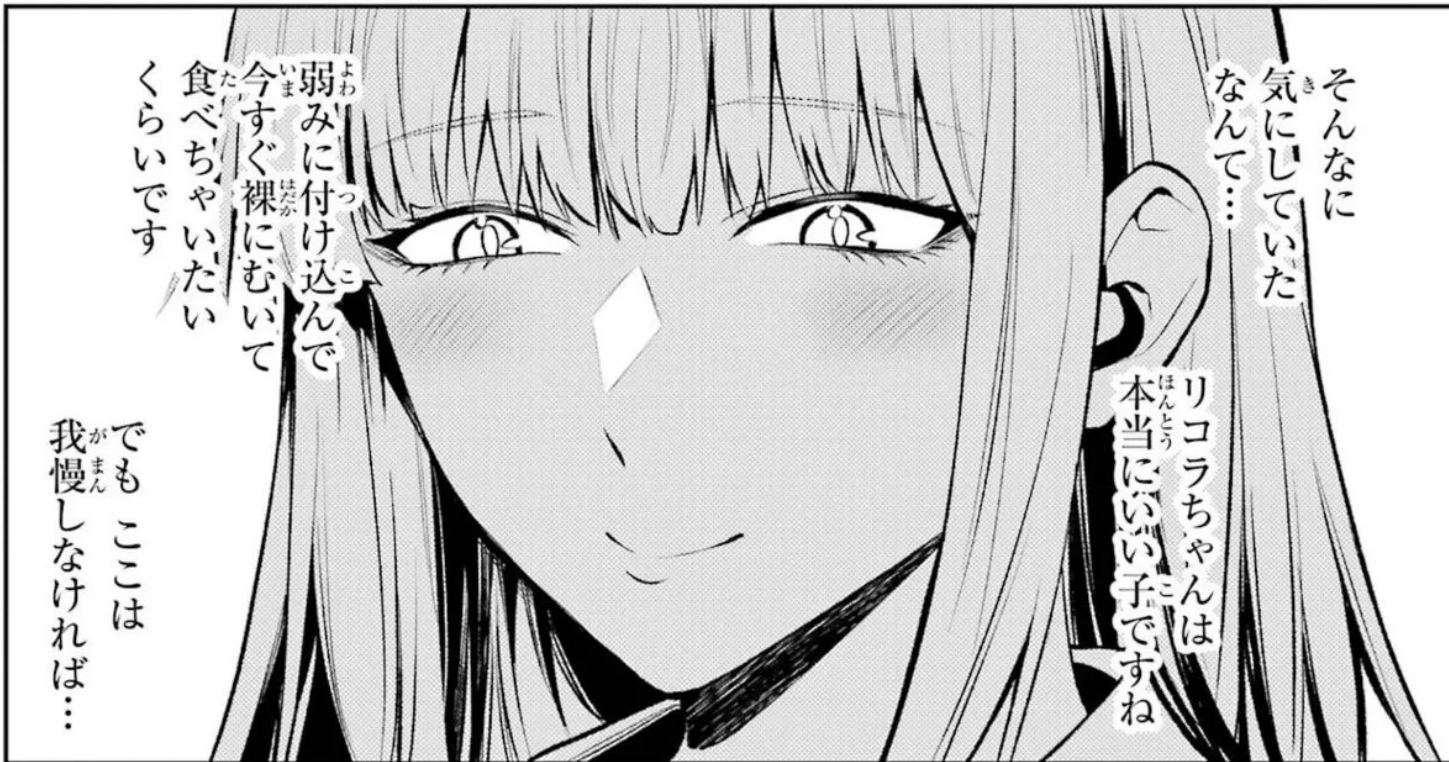
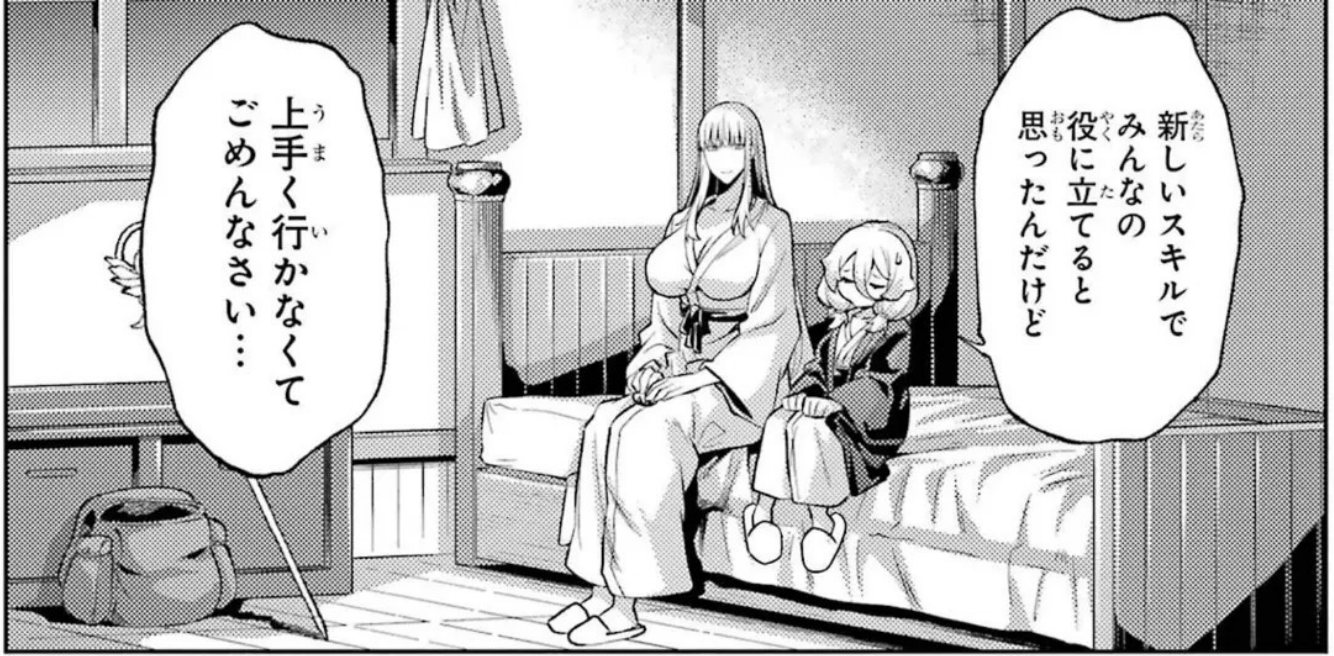
そのおわびだよ



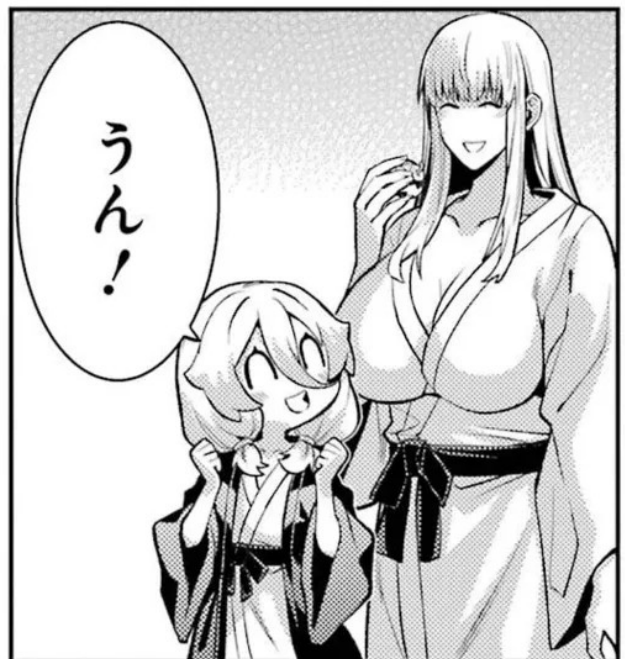
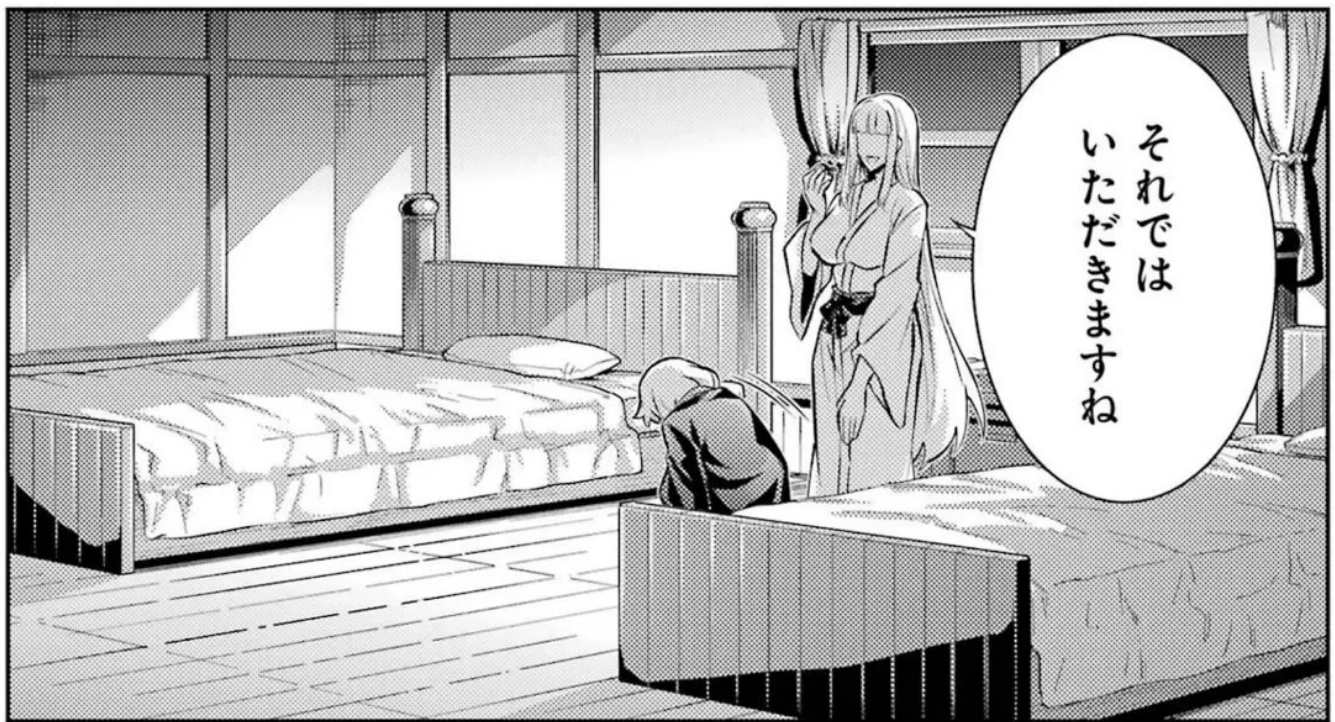
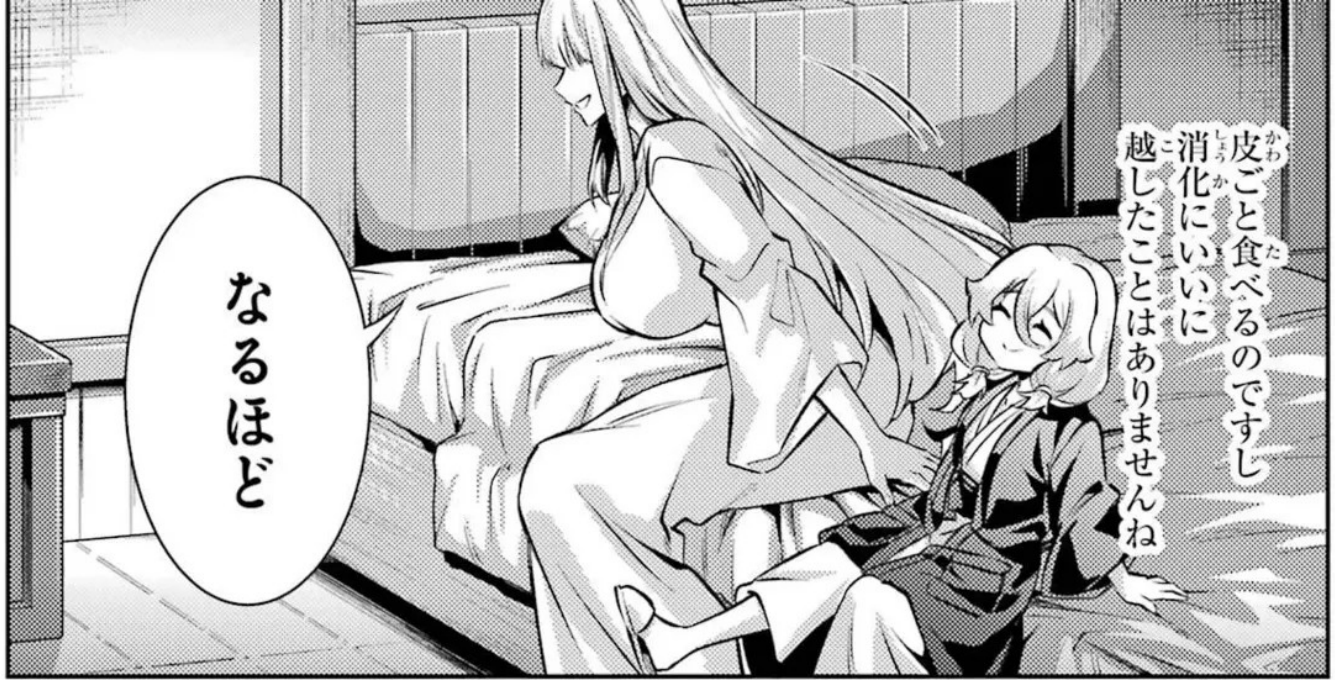
ごめんなさい

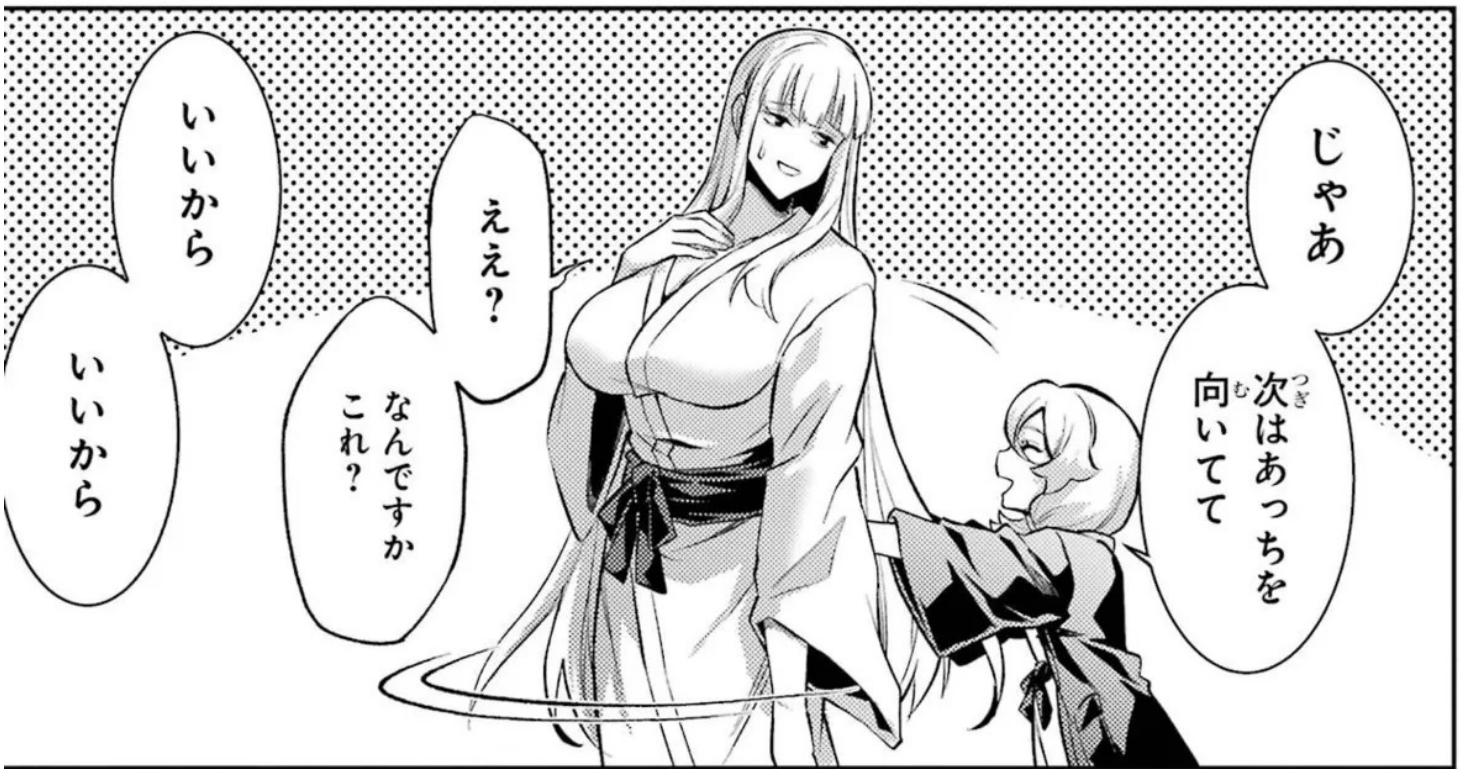
フィオールさん

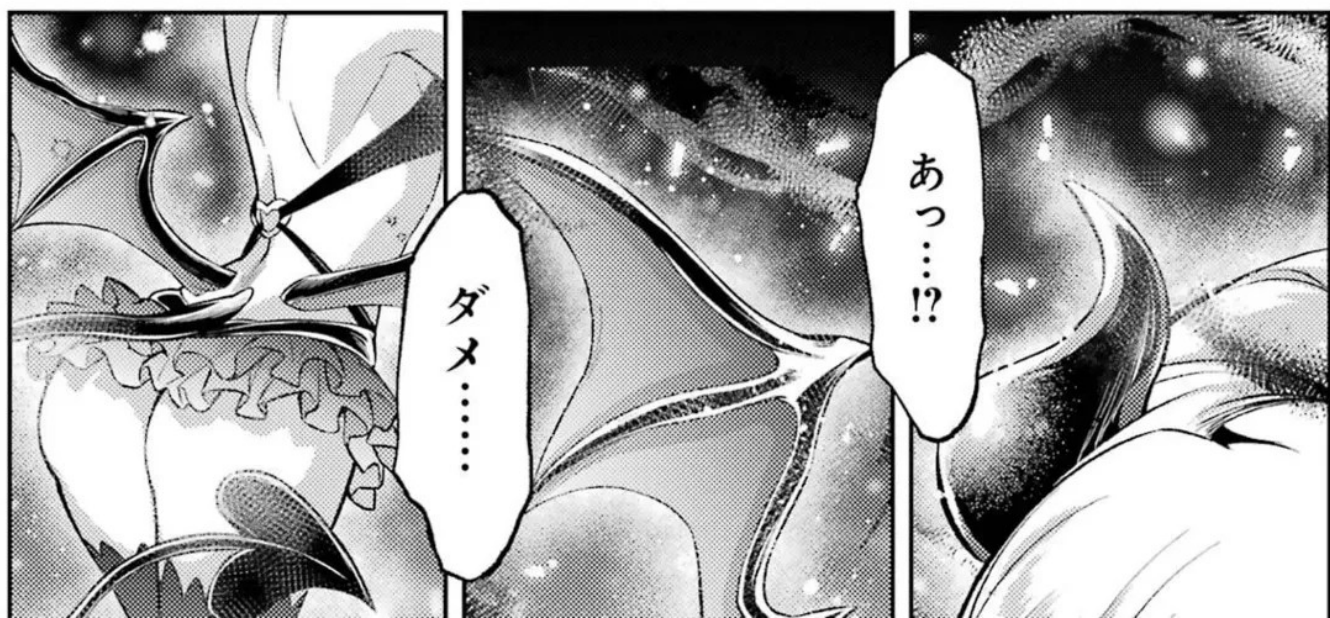
リコラちゃん…













ダメなななっ...!!



リコラちゃん!

その姿は...!!

へんか
変化の術が解けて
しまったようだな

ステータスを
入れ替えたせいか



あなたは...!

あ



ああ

魔王軍四天王
アッシュノルドだ

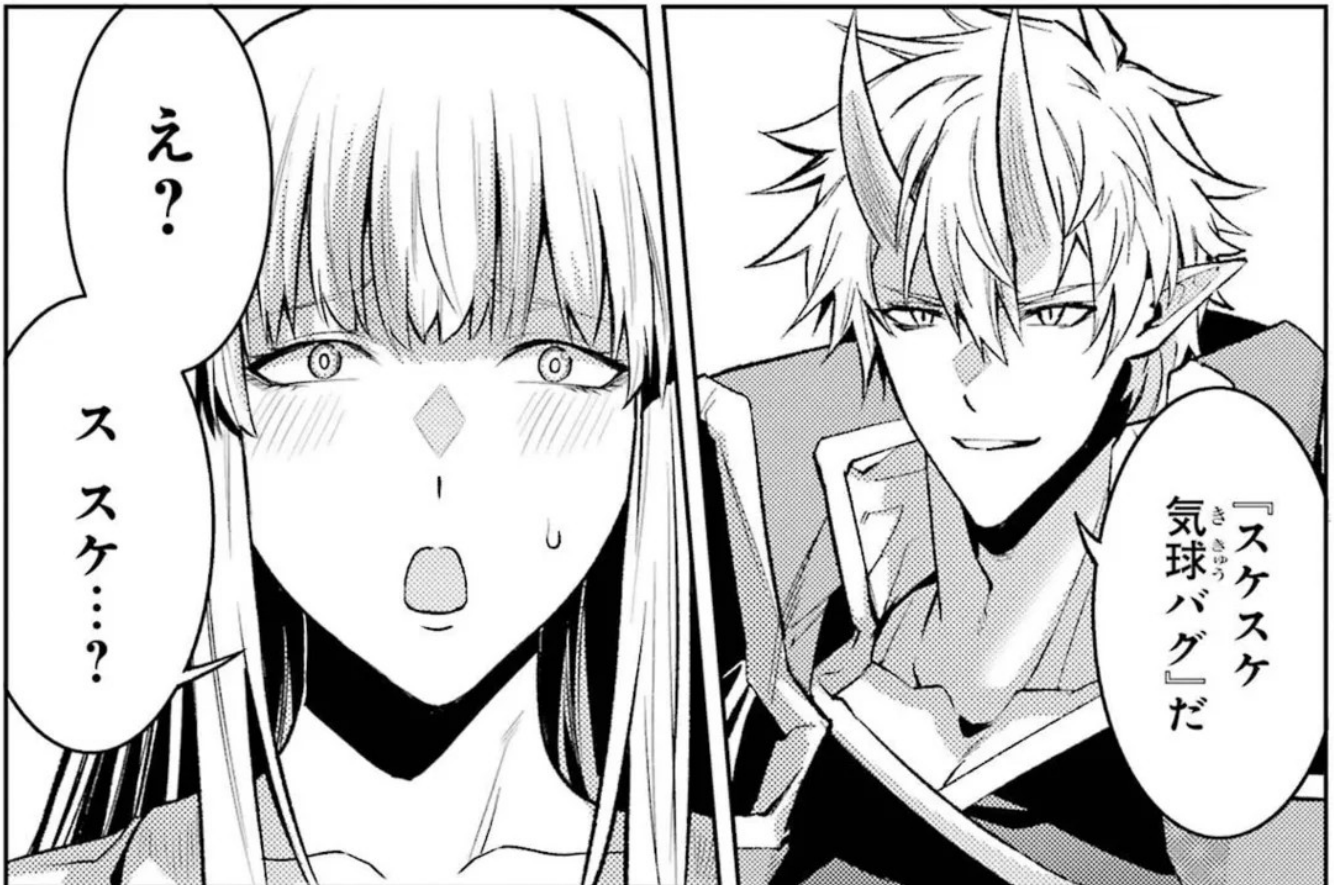
誘拐事件以来
だな

僧侶
ファイオール



いったい
どうやって…

ムムム…



え？

ススケ…？

『スケスケ
気球バグ』だ



お前さんたちは
ミドラータ地方に
行くために

デオロ市の市長に
会う予定だろう？

……！
どうして
それを知って……



市長は
気前のいい人物
でな

お前さんたちを
気球でミドラータ地方まで
送り届けてくれる
ことになる

ガルダ

空の魔物を
退治してもらうこと
なんだがな

まあ市長の
本当の狙いは

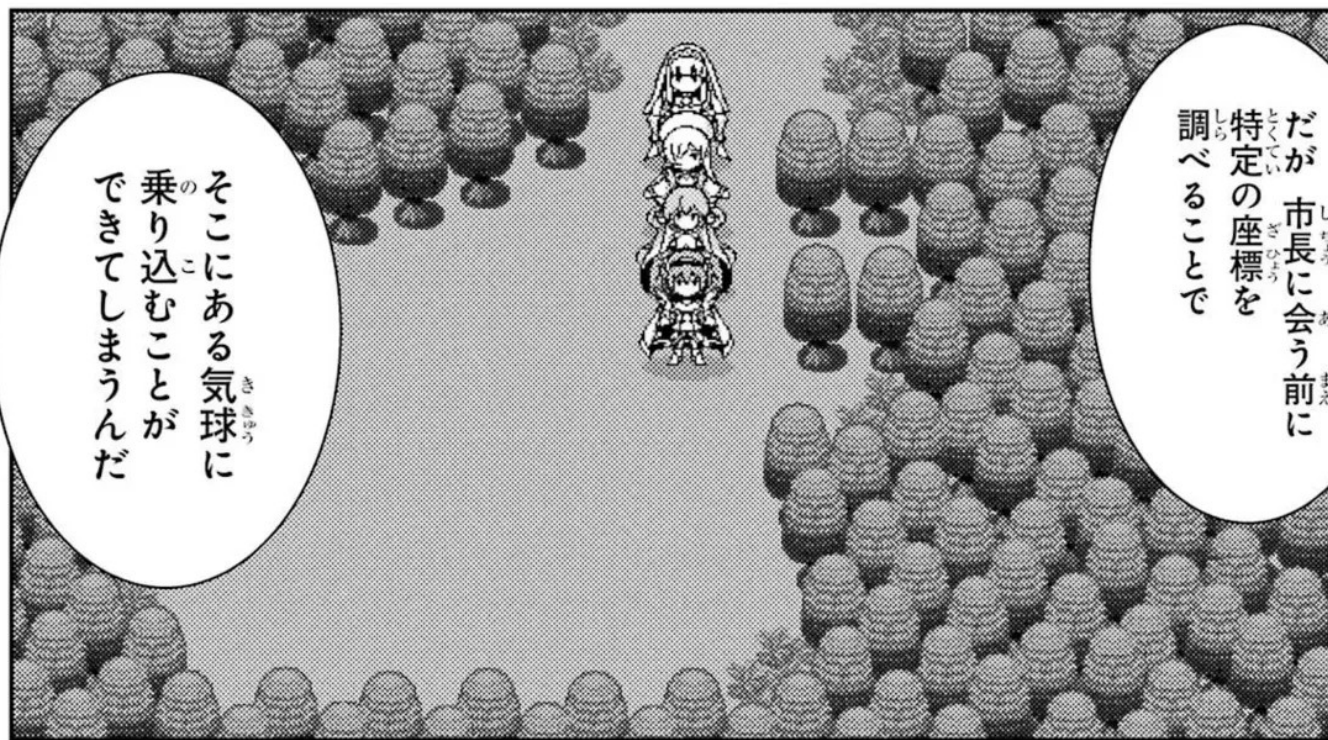
<p>たたかう まもる にげる アイテム</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ユーリ</td> <td style="width: 20%;">HP</td> <td style="width: 30%;">1783/1783</td> <td style="width: 10%;"><div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div></td> </tr> <tr> <td>フィオ</td> <td>HP</td> <td>1532/1532</td> <td><div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div></td> </tr> <tr> <td>キャロ</td> <td>HP</td> <td>1347/1347</td> <td><div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div></td> </tr> <tr> <td>イサミ</td> <td>HP</td> <td>1852/1852</td> <td><div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div></td> </tr> </table>	ユーリ	HP	1783/1783	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div>	フィオ	HP	1532/1532	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div>	キャロ	HP	1347/1347	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div>	イサミ	HP	1852/1852	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div>
ユーリ	HP	1783/1783	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div>														
フィオ	HP	1532/1532	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div>														
キャロ	HP	1347/1347	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div>														
イサミ	HP	1852/1852	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: gray;"></div>														



な…

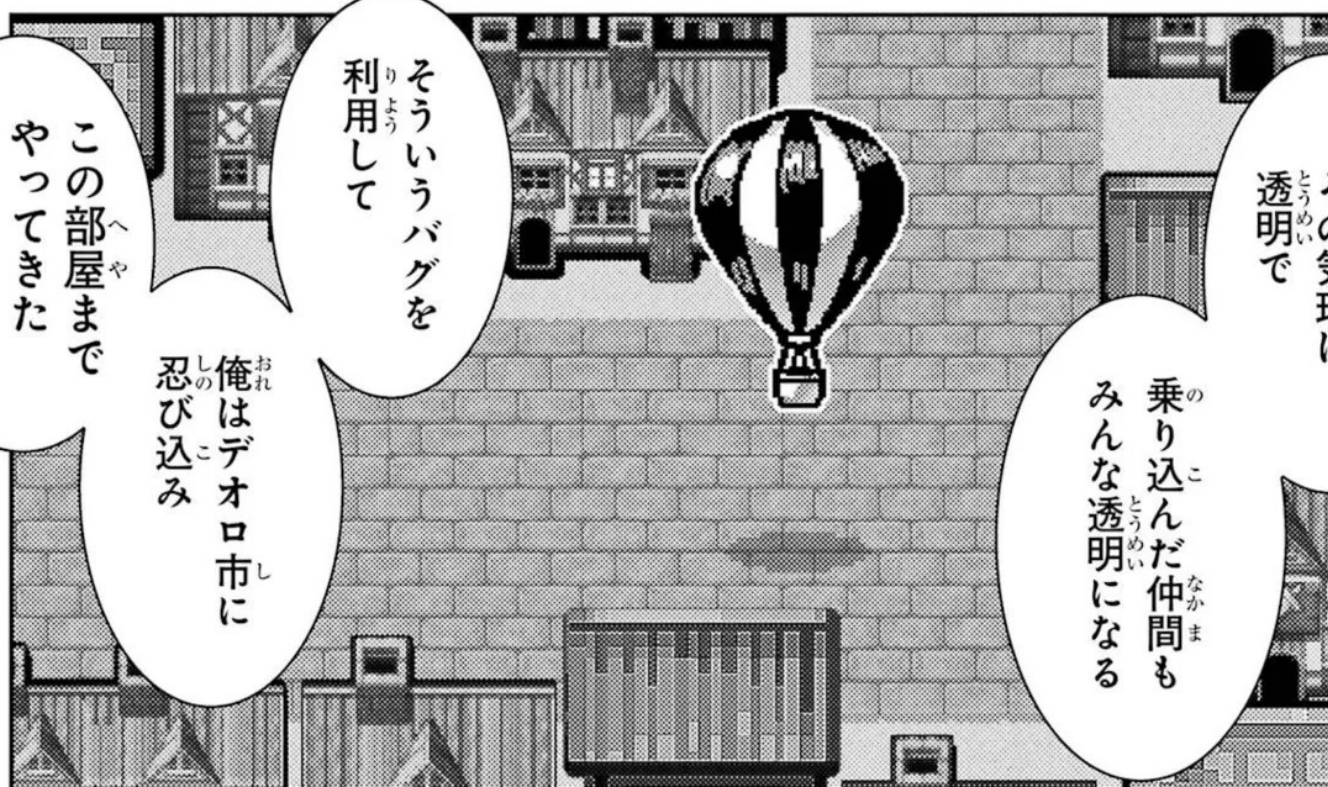
何を言っている
のですか…？

未来の話だからな
当然まだ気球は
登場していない



だが市長に会う前に
特定の座標を
調べることで

そこにある気球に
乗り込むことが
できてしまうんだ



しかも
その気球は
透明で

乗り込んだ仲間も
みんな透明になる

そういうバグを
利用して

俺はデオロ市に
忍び込み

この部屋まで
やってきた



意味が…

わかりません



なかなかいい作戦だろう



そうだろうな

俺も理解してもらえらるとは思っていない

……

しばらくおとなしくしていてくれ

お前さんは後回しだ



リコラ

こっちに来て

……!



私を
何を
言っ
てるの!?

じゃない



ひ

久しぶりだね

お兄ちゃん!



ほう...

抵抗するの
か

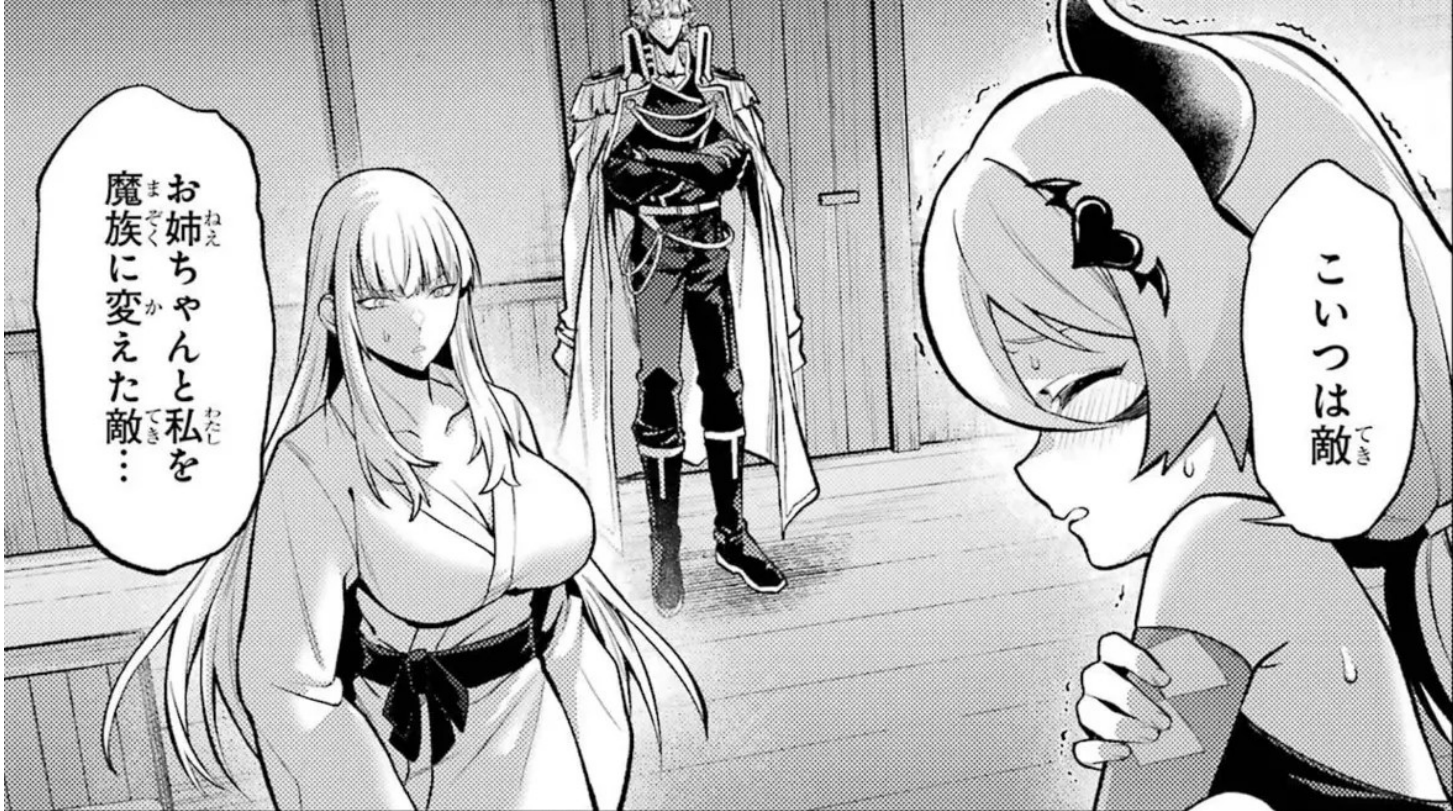
姉妹
そろって
強情
だな



ああ...

ダメなのに

体が
勝手に...



お姉ちゃんを
魔族に変えた敵…

こいつは敵



お兄ちゃん
なんかじゃ…

ない…!!



ないのに

なのにい…



淫紋が
ファイオールに
移ったから

眷属化が解けて
しまっているな

だが
体に染みついた
感覚…

命令に従う快感は
しっかり残って
いるようだな



言い付けは

ちゃんと守って
いたか？



い嫌…

思い出させ
ないで…♡



うっ…

守って…たぬ…

何を
して
いたんだ…？

言ってみろ



う…
ううう…

まいばん
毎晩オナニーを
してたの…

お兄ちゃんを
おもい浮かべながら…



おかげで
淫紋を失った
今でも

はんけんぞくじょうたい
半眷属状態を
保っている
ようだな

おれ
俺への忠誠心も
残っているの
だろう？

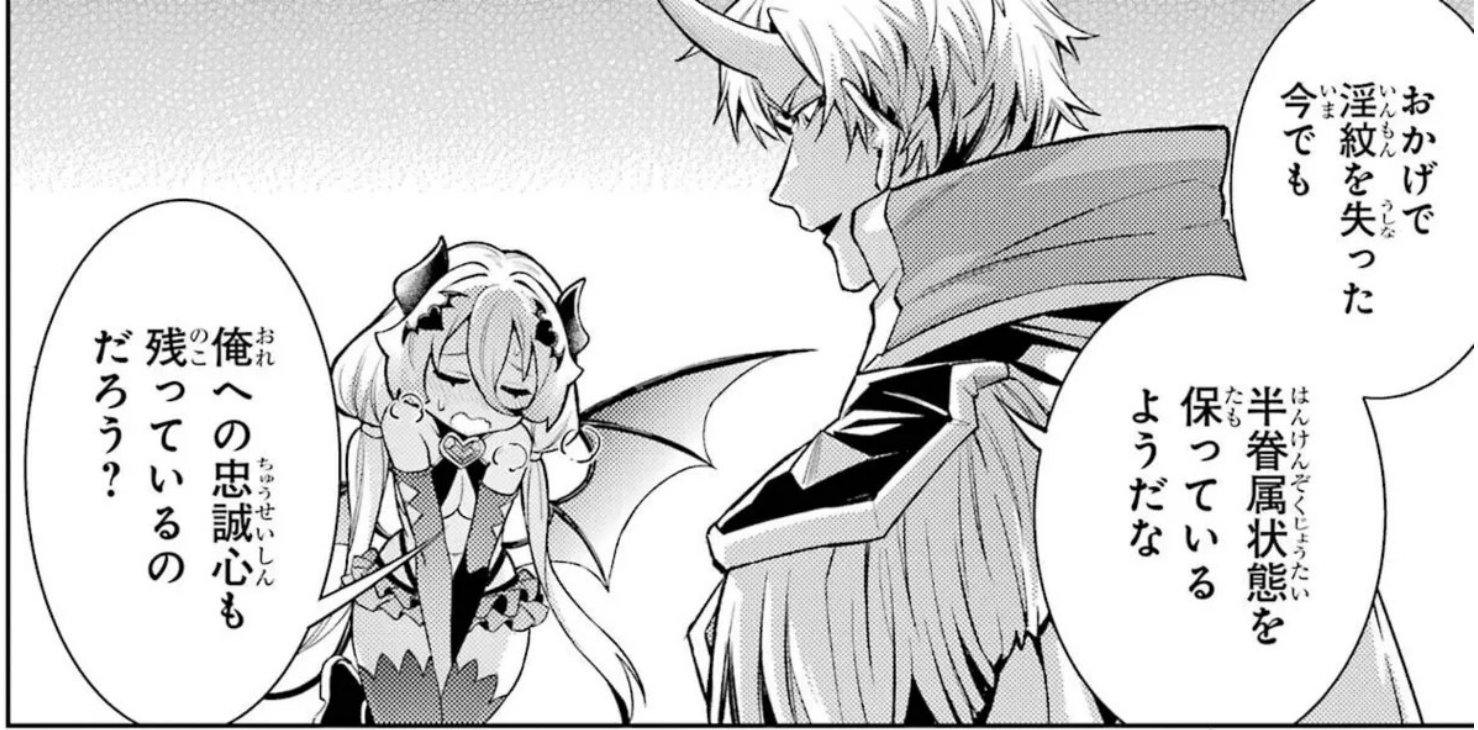
さつきまでの私は
操られていただけ…

やめて

この調子なら

もう一度墮とすのは
たやすいだろう

リコラ





あ……



ファイオールさん……

逃げて……



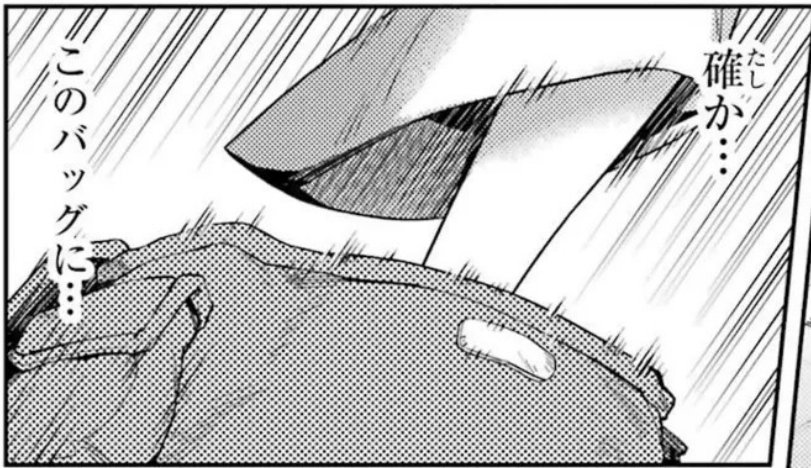
ダメ……

幸せな気持ちになっちゃう……



リ……

リコラちゃん……





その手を
はな
放しなさい!!



アッシュノルド!





ファイオールさんは

もう
アツシユノルドさんの
眷属なんだよ?



!

これは…



これは…
なんですか!?

しゅる
しゅる



ちやんと
ふくじゅう
服従しなぎや

あなた…

ココルル
さん!?









久しぶりだね

ファイオール
さん



あなた本当に
ココルルさん
なんですか!?

その姿は…



素敵でしょ?

この体



私から説明して
いいよね?

アツシユ
ノルドさん

ああ

任せた



スライム
なんだよ

ススライム
ですか!?

スライムこそ
あの…



ただし

スライムは
スライムでも
ナハトスライム

とっても
硬くて柔軟で

ナイフの刃
なんか
効かなくて…



こんな風
に

自由に形も
変えられるん
だから

えっ!?

にゅふ



ココルル
さん!?

何を
するつもり
なんです
か!?



ニムミ

ファイオールさんも
眷属けんぞくになろうよ

ええっ!?



ふ
服ふくの下したに…

眷属けんぞく
になるには

ハコはいここないで
ください!

まず
気持ちよく
ならないとだから…



ニムミ



ダメだよ

こうやって絡みついたらもう逃がさない

ぐん、
ぐん、



ベッドをつかんで...

えいつ!

!?

ぐん、



きゃっ!?

サッ
サッ

いけません
ココルルさん…

ニャッ

ニャッ

からだの
スライムの
体の

いちばんすてき
一番素敵なところを
あじ
味わわせてあげる

こんな…
はしたない格好…
かっこう

いっぱい

きもち
気持ちよく
してあげるね

うね

うね



ココルルさん

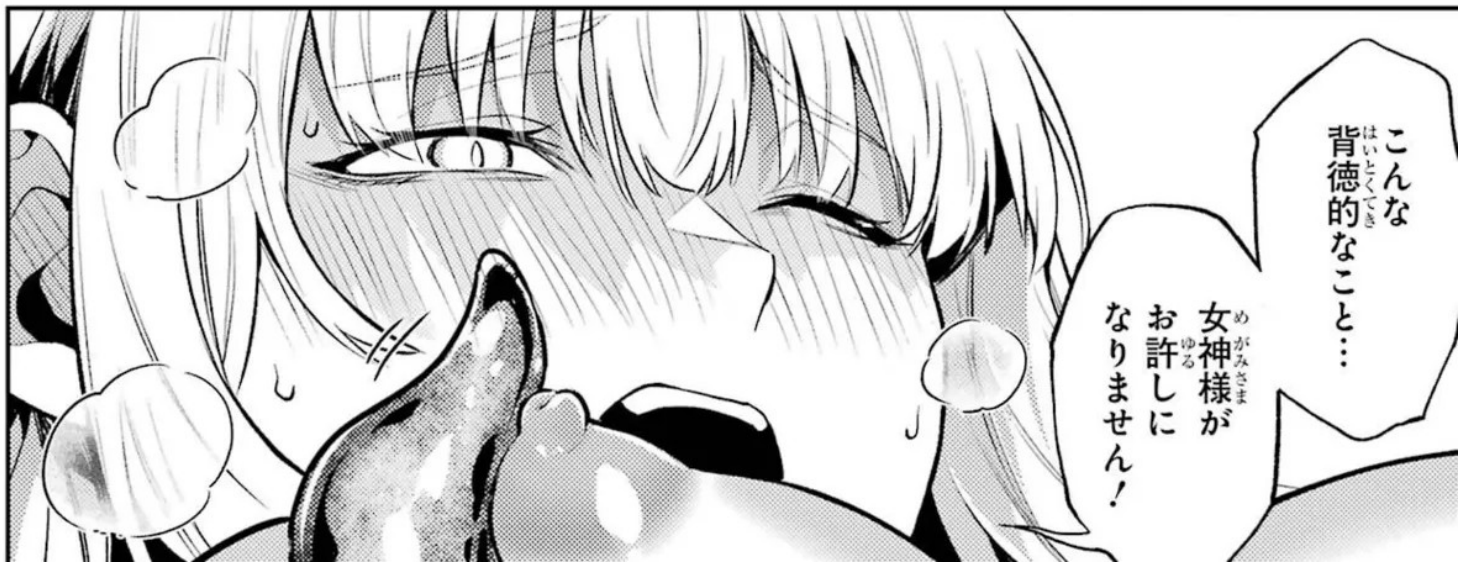
こんなことしちや…
ダメです！



えー？

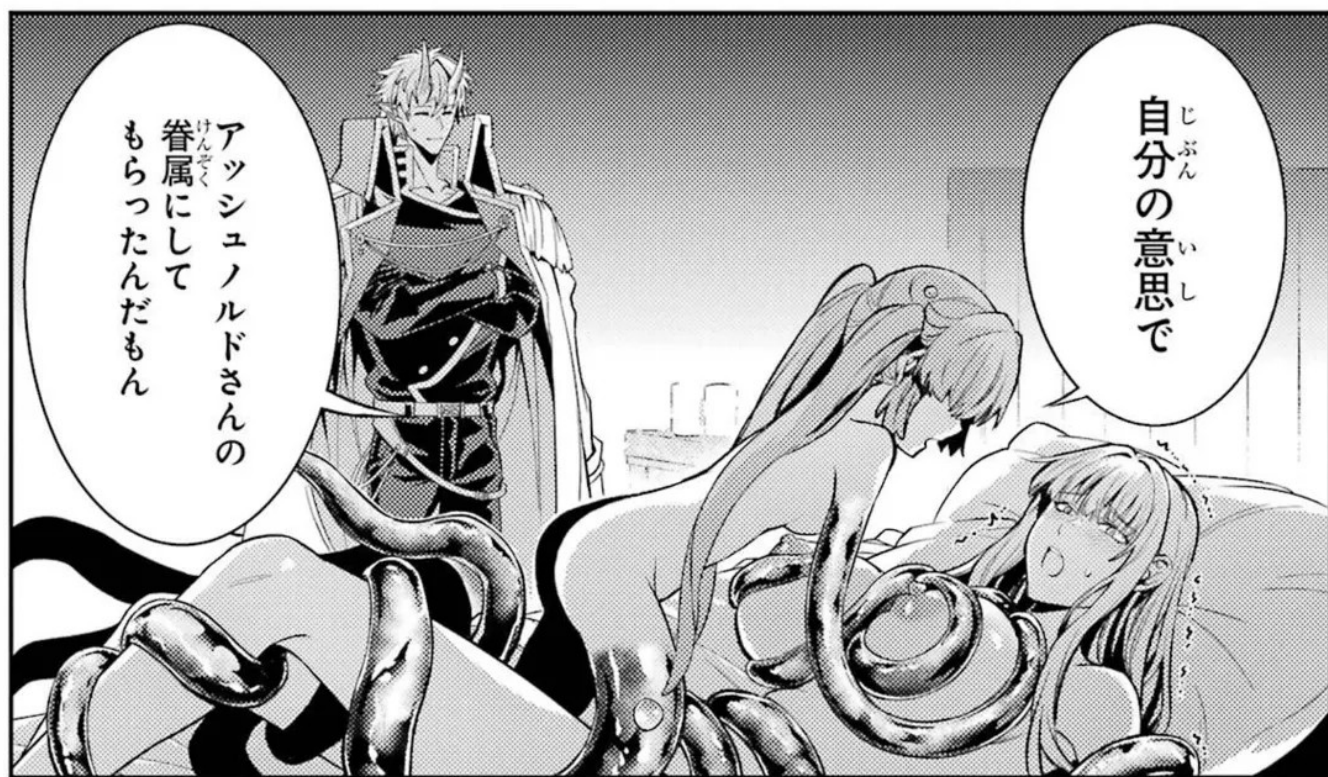
どうして
ダメなの？

どどうして
って…



こんな
背徳的なこと…

女神様が
お許しに
なりません！



ううん

嘘うそじゃない

フィオールさんたちも
気付きづいてたよね

宿屋やどやに他ほかのお客きやくさんが
まったくいなかっただこと

勇者ゆうしやさんたちが
いなくなったら

宿屋やどやの稼かせぎだけじゃ
食たべていけない

人間にんげんのまま
だったら私わたし：

都会とかいに売うられて
たと思おもうんだ

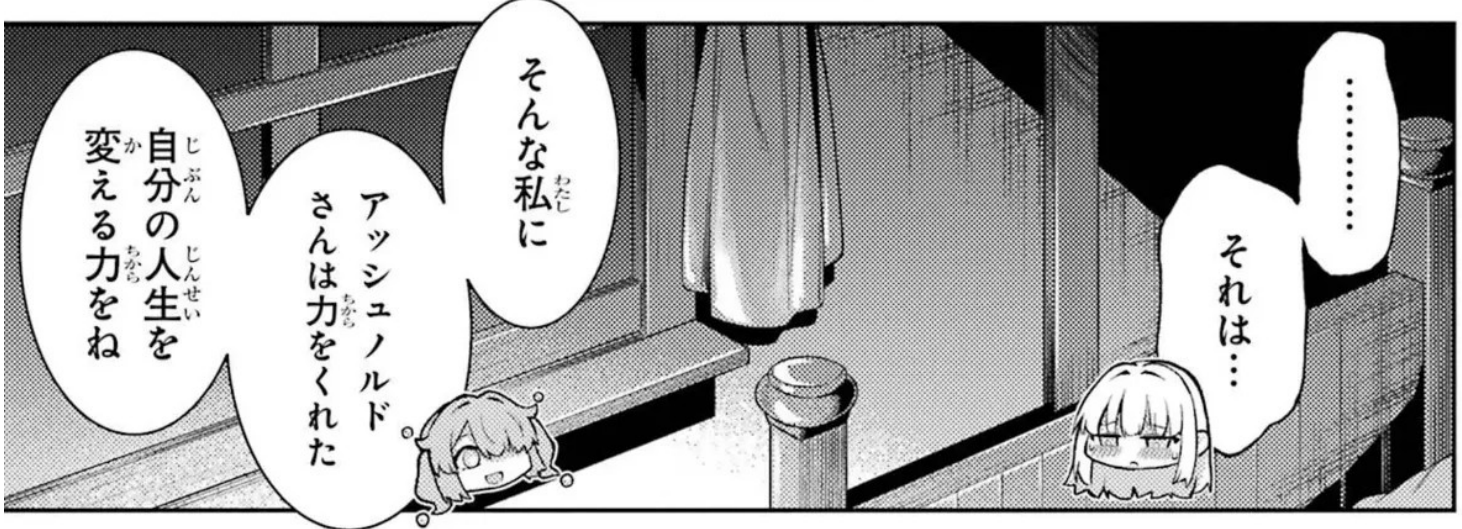


都会に
売られるって

どういうことか
わかるよね？

ココルルさん

.....
!



そんな私に

アツシユノルド
さんは力をくれた

自分の人生を
変える力をね

それは.....

.....



そんな.....

それじゃ
本当に

ココルルさんは
自分の意思で
魔族に.....?

そうだよ



トメイト村の宿屋が
楽ではないことは

もちろん私たちが
気付いて
いましたけど

それでも汚らわしい
魔族になるしか

解決方法が
なかったはずは…



ああ
でも…私も

無力な
私たちは

女神サードイン様でも
どうにもできない
ことだと

こんなことでもして
憂さ晴らしするしか
ありませんね

ちよつと…
ファイオ…

んっ…

イサミとの快楽に溺れて
目をそらしてきたのは
確かです



私たち勇者一行に
どうにも
できないことが

魔族の力で
解決できるのなら

それは…それは
間違った選択
なのでしょ…?

むしろ賢い選択
なのでは…?

あつあつ!?

コルルさん…

そこは…
ダメです…♡

このお腹の
紋様は…?

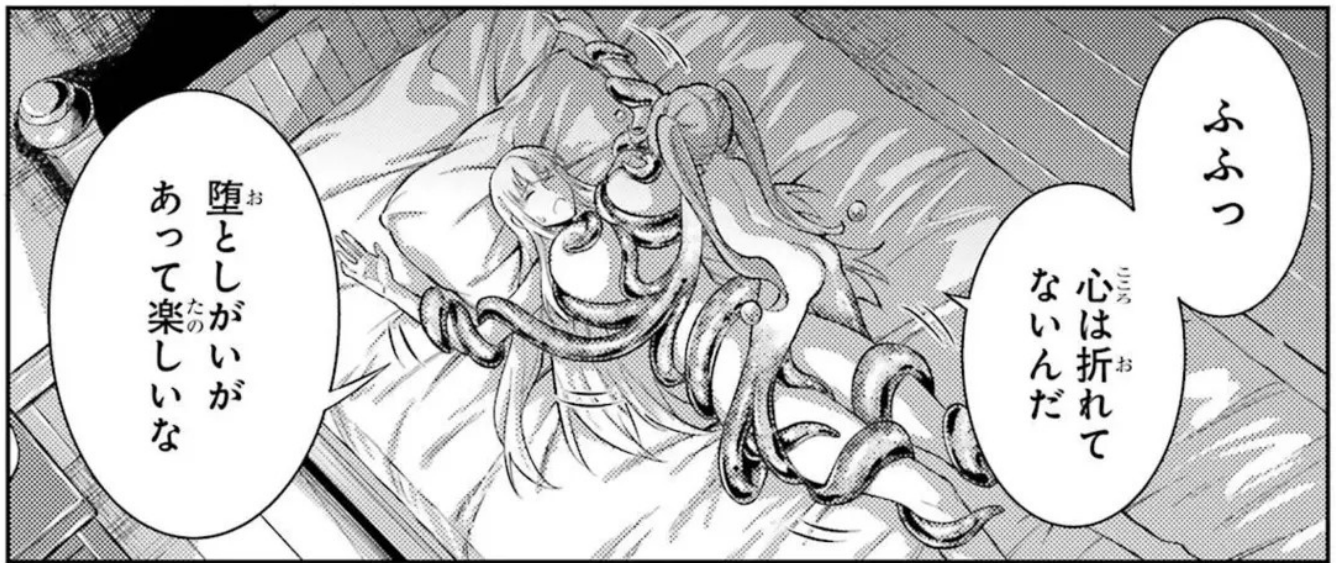
すっごく
いやらしい声こえ

もうちょっと
かな?

!?

私わたしは
いやらしく
なんか…







では俺は
もう一人を
なんとかするか

さて

リコラ



眷属なんて

嫌に決まってる
でしょ!

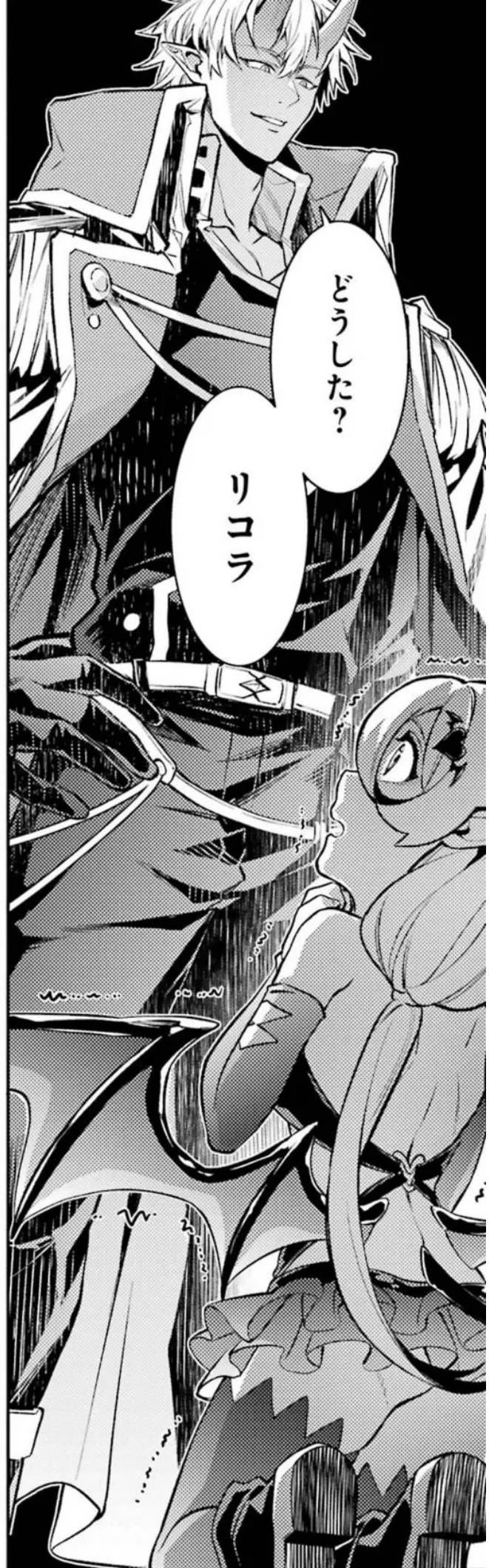
俺の眷属に
戻りたいんだろう?

お前さんは
どうするんだ?



嫌なのに…
嫌なはずなのに…♡

あああ…
でもでも…





ち
違^{ちが}う!

そんなの欲^ほしいわけ
ないじゃない!

見^みせないでよ!

へんたい
変態^{へんたい}!!!



まだ抵抗^{ていこう}するの
か

見^みあ
上げた精神^{せいしん}力^{りき}だ



リコラは

これ^これが
欲^ほしいんだな?

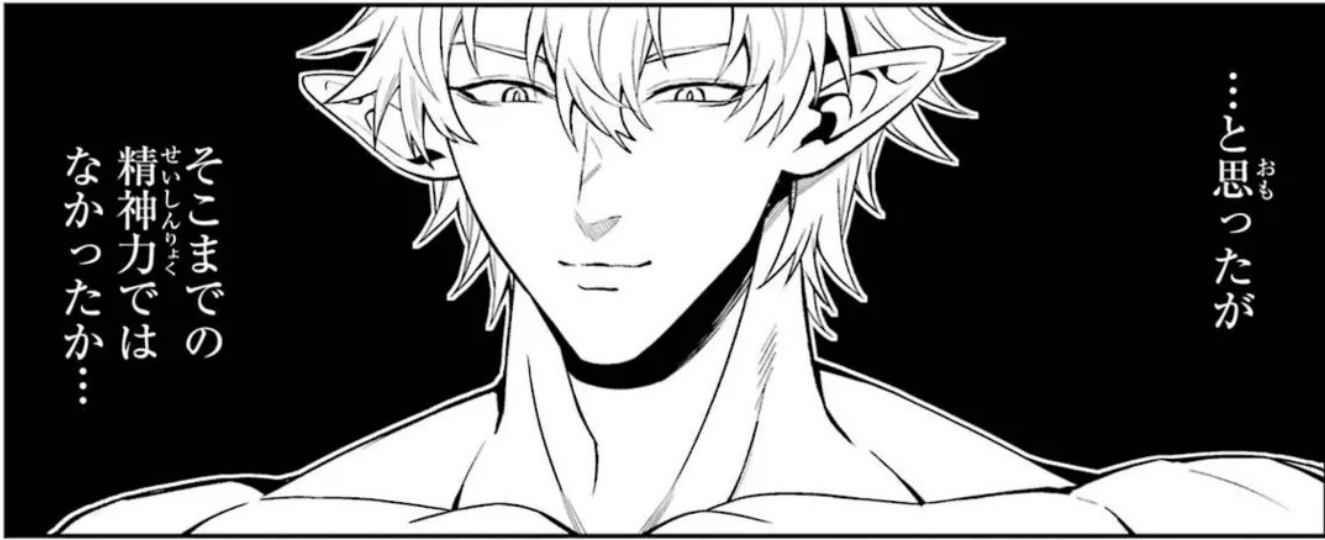


あはあ...

あ...

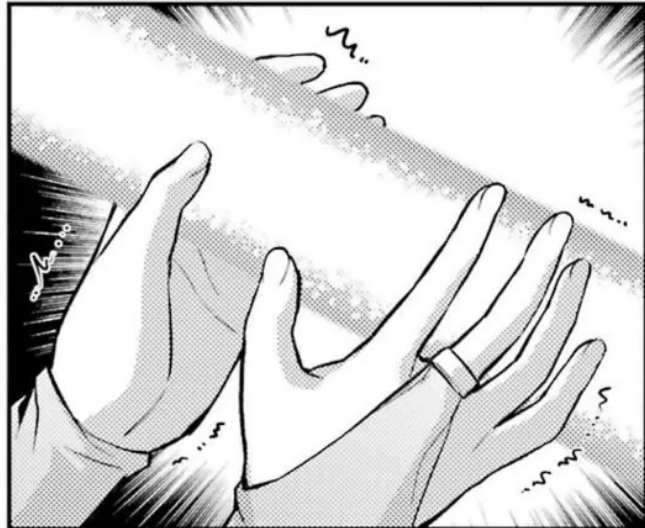
あめなの...

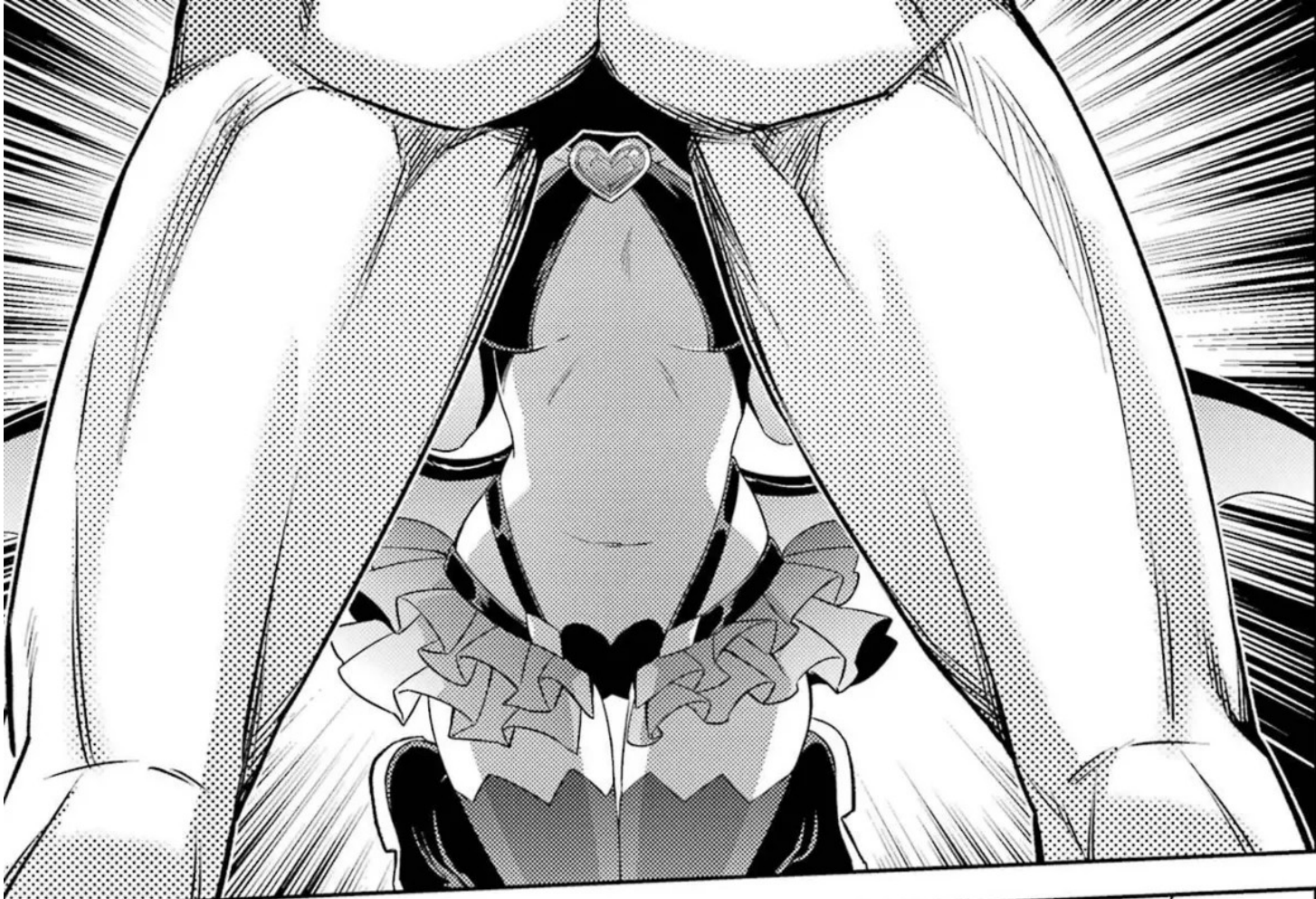
あめなの...



...とおも
思ったが

そこまでの
せいしんりよく
精神力では
なかったか...





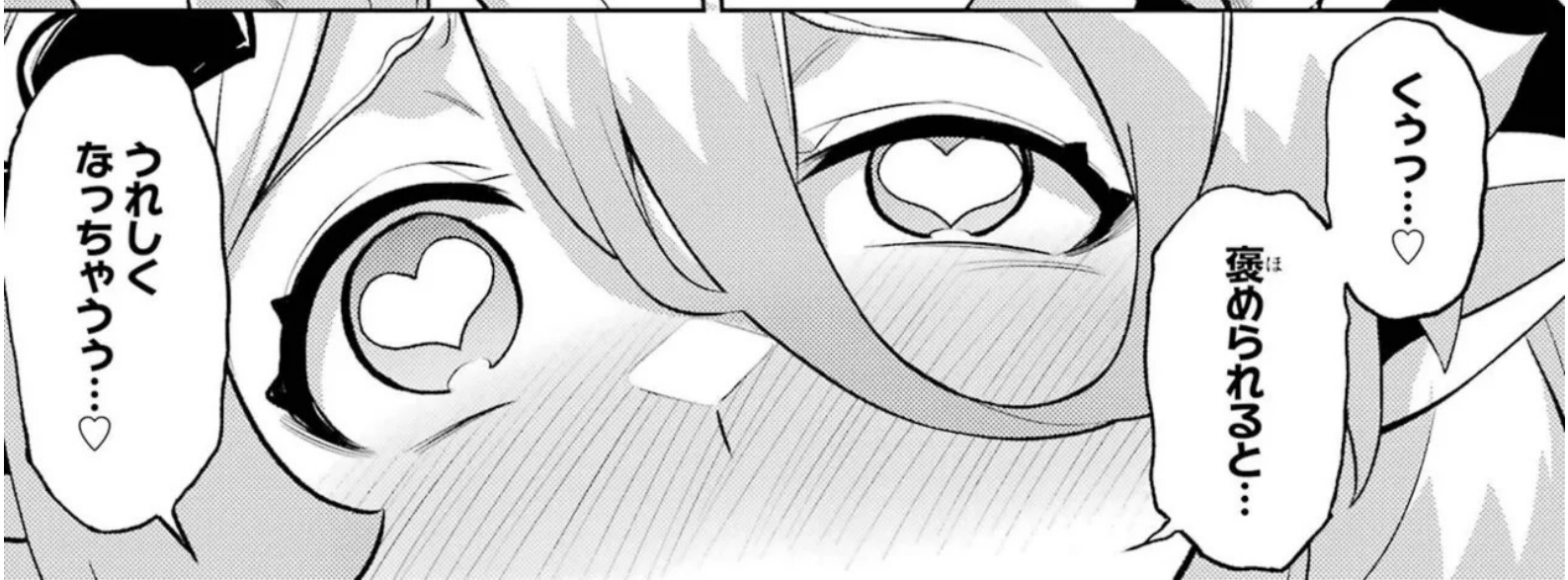
ちやんと
あじおほ
味を覚えて
いるようだな

えら
偉いぞリコラ



こんなのが
おいしいなんて…
美味…

ぜったい
絶対おかし
のにい…



うれしく
なっちゃった…♡

ほ
褒められた…

くっ…♡

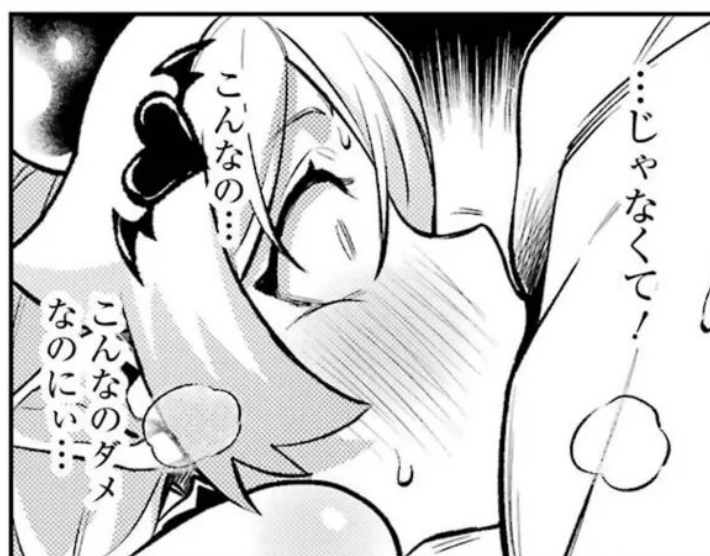


うおっ…

さすが
サキユバス…

ぜつみょう
したつか
絶妙な舌使いだな

きもち
気持ちいいぞ
リコラ



こんなの…

こんなのダメ
なのにい…

…じゃなくて！



ああ…

お兄ちゃん

きもち
気持ちいいの？



ぜんぶう
全部受け止めるね

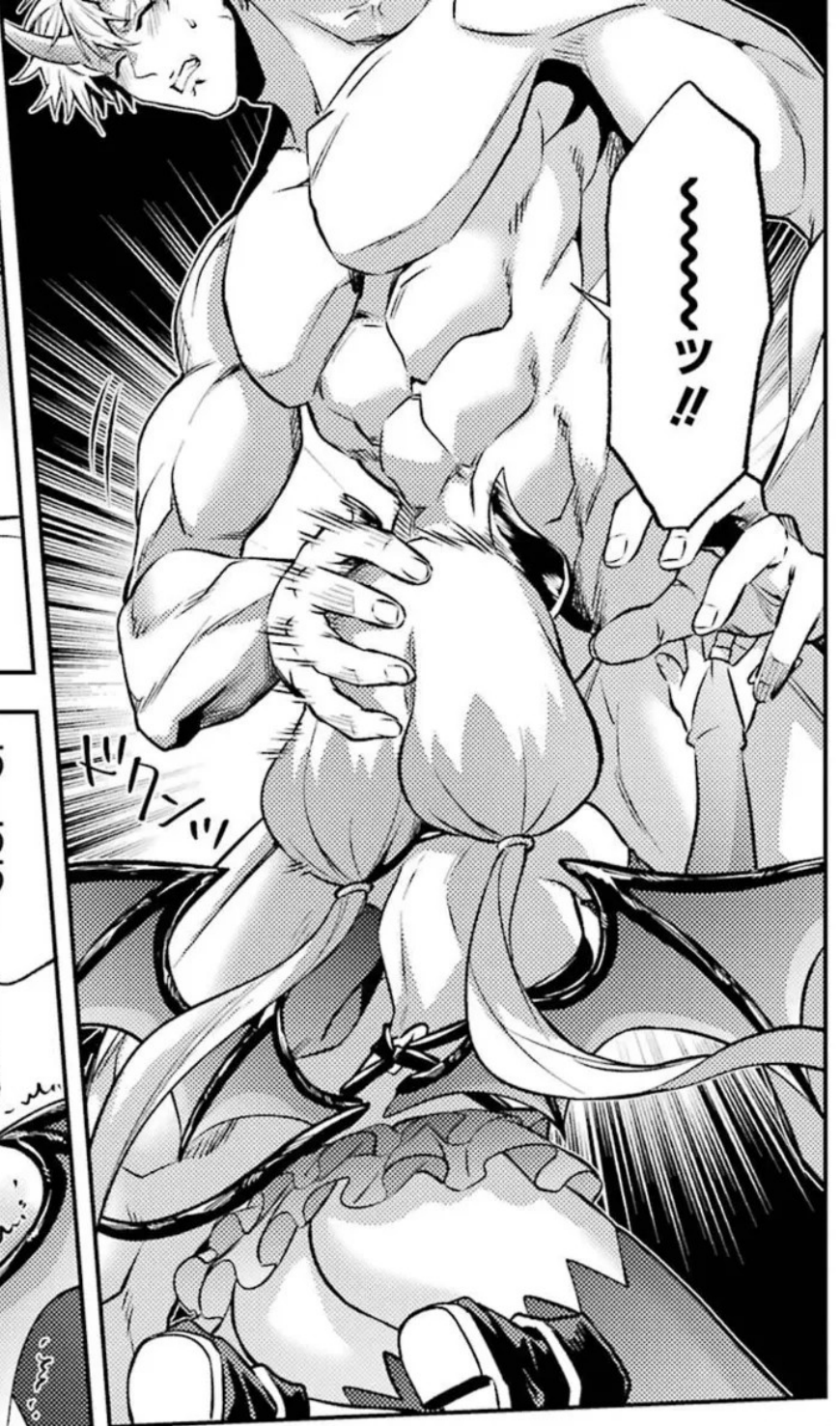
うん…

お兄ちゃん



イクぞ

リコラ…!!





淫紋が
浮かび上がり
始めたな…

あああ…

ダメダメ

触らないで…♡



戻る必要なんて
ないだろう？

またキャロと一緒に
幸せに暮らせば
いいじゃないか？



もう戻れ
なくなる…♡

戻れなく
なっちゃう…♡

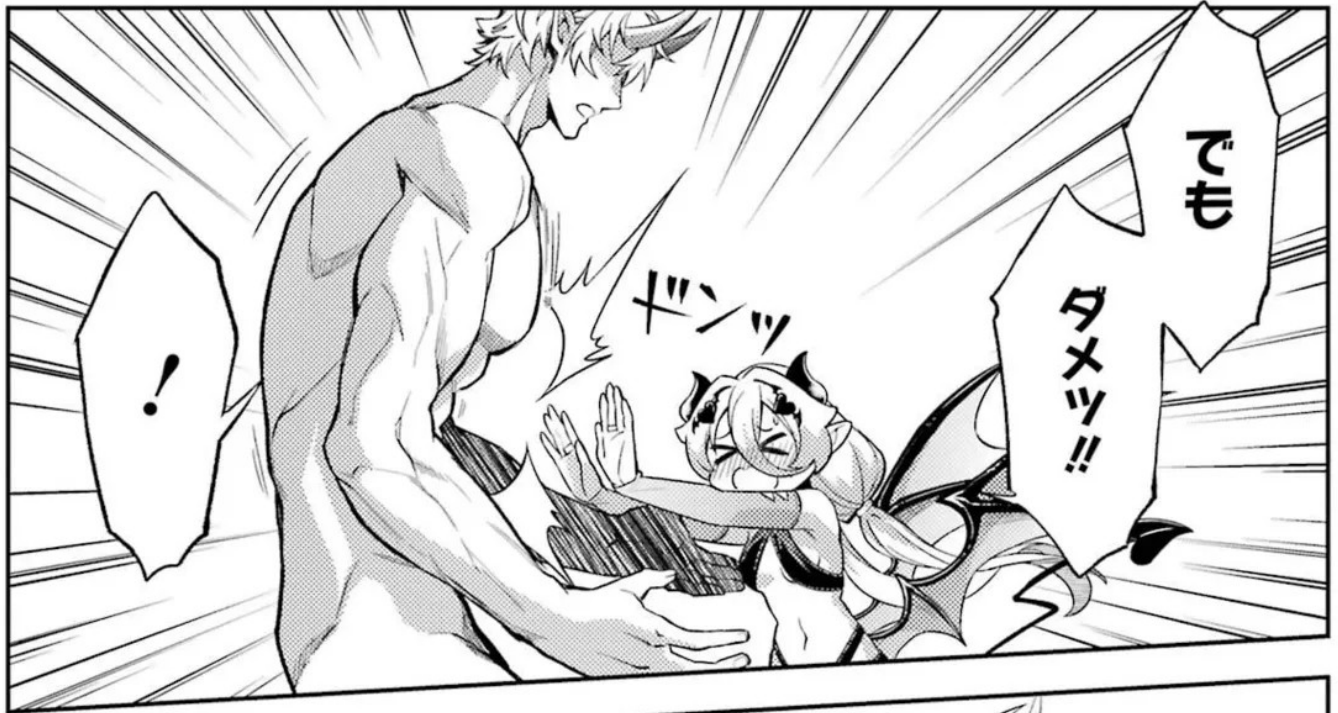


それは…

そうだけど…

そりゃないて…

あああ…
もう…
もう…
もう…♡♡♡



でも

ダメツ!!

ザンツ

!



淫紋いんもんが不完全ふかんぜんであるとはいえ

まだ抵抗ていこうできるのか…!

リコラ…

ここら
なったら…





私はもうお兄ちゃん
の眷属になっちゃうのも
時間の問題だけど…

でも私が私で
あんなに…



サキユバスの力で
お兄ちゃんを骨抜きに
しちゃうんだから！

サキユバスの力…

!!
火炎魔法でないなら
ひとまずよかつたが…



この雰囲気…
キヤロとは違う

完全覚醒した
サキユバスは

いったいどれほどの
力を持っているんだ…?

ほう…

どうする
つもりだ？



覚悟してよね！

お兄ちゃん！



うおっ!?

こうする
んだよ

お兄ちゃん

もしも俺の眷属に
近いかも持つていた
としたら...



くっ...

これは確かに...

すごい
テクニクだ...

絶対に負けるわけには
いかない...!!



舌だけでも
すごかったが

指を併せて
使うことで

ここまでの快感を
生み出せるとはな...

さすがは
サキユバス

くうっ...



ふふっ

お兄ちゃん
たら…

おお
こんなにあっさり
大きくしちゃって…

わあっ

お兄ちゃんの
ざあっ

♀
私わたしがいないと
射精しゃせいできない性奴隷せいどれいに
してあげるんだから



ダメだ
しゅせい
まわ
守勢に回つては…！

それは
どうか
かな

こんど
今度は
こちらの番だ



ひゃあああつ……♡!!

えっ!!



以前より**敏感**になっ
ているんじゃないか？

そ
そんなとこ…

触つちや…♡

毎晩ここを
刺激して
いたんだらう？

オナニーの
成果だな



ややめ…♡

やめるわけが
ないだらう

そら淫紋も
なでてやろう

!!

おせへんさ
♡♡





はで
派手にいったな



はあ...

はあっ♡

あ...ああ...♡♡



だがまだ
休ませないぞ

淫紋の輝きが
まだ弱い

もう二度
絶頂させて

眷属化を完成
させなければ...

!?



ダメ...

いま
敏感になってる
からあ...♡